

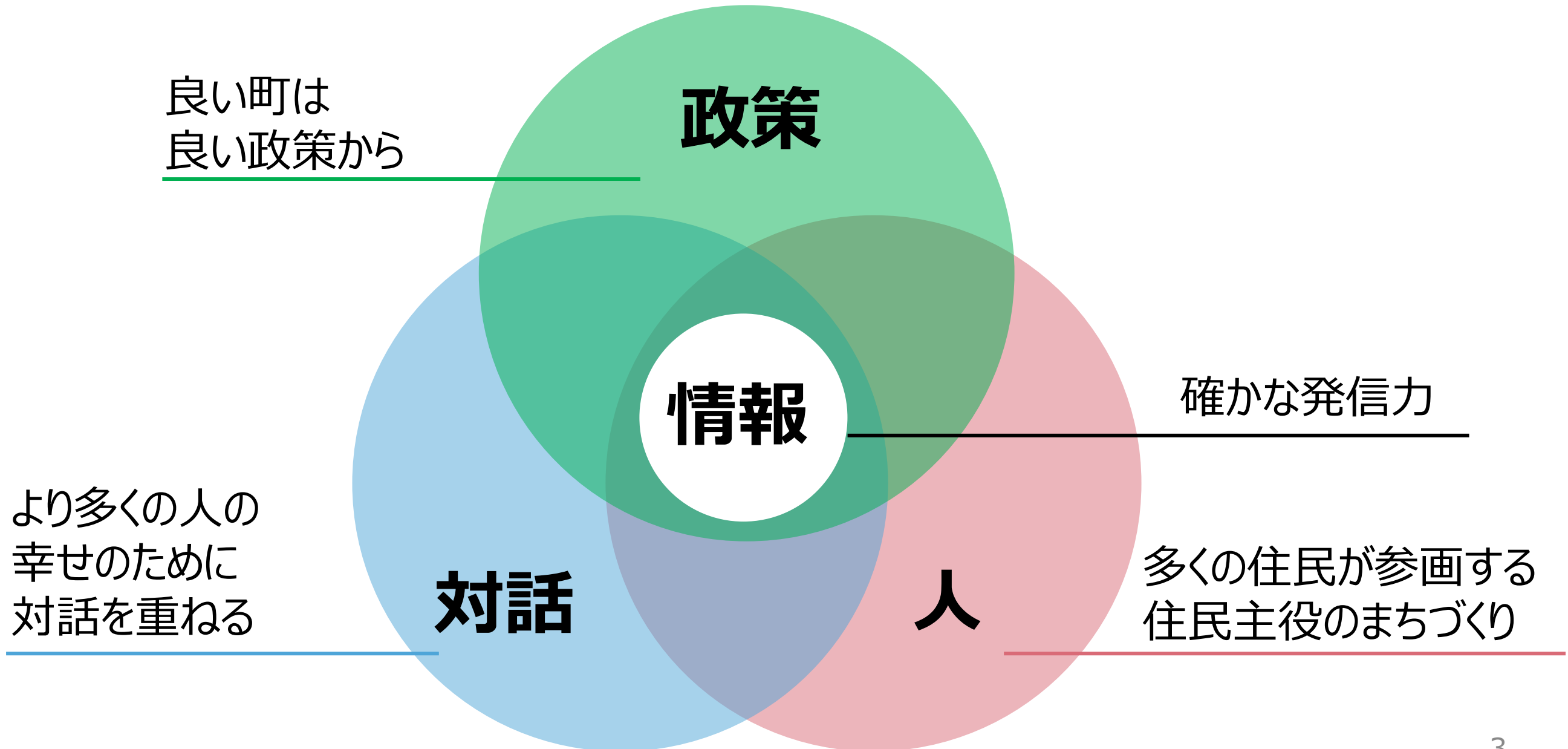
まちづくり

懇話会

目次

- 01 開会
- 02 区長あいさつ
- 03 町長あいさつ
- 04 町の取組紹介
- 05 事前質問への回答
- 06 質疑応答 意見交換
- 07 閉会
- 08 アンケートご協力のお願い

まちづくりの方程式



三芳町のまちづくりの方向性

昨年、町の最上位計画である第6次総合計画を定めました。

目指す将来像

8年間の計画

令和6年～令和13年



共に創ろう
ひと・まち・みどりが
つながる
ウェルビーイング
幸せのまち

ウェルビーイングとは、

世界保健機構憲章で提唱された概念。
身体的、精神的、そして社会的に良好で
すべてが満たされた状態を指します。

物質的な
豊かさ

こころの
豊かさ

三芳町のまちづくりの方向性

掲げる将来像



共創のまちづくり

持続可能なまちづくり

魅力と特性を活かすまちづくり

令和7年度の トピックス

- 01** **町制55周年**
- 02** 藤久保地域拠点
- 03** 共生社会の実現に向けた取組
- 04** CFCI 子どもにやさしいまちづくり
- 05** (仮称) 地域活性化発信交流拠点
- 06** 共創のまちづくり

町制施行55周年



三芳町は令和7年11月3日に町制施行55周年を迎えます。
先人たちが作り上げ、継承してきた歴史、文化、伝統、自然に感謝し、
さらに三芳の魅力と活力を磨き上げていきます。

1889

三芳村の誕生

竹間沢村・藤久保村・
北永井村・上富村の
旧四か村合併して三芳村へ

1970

町制施行



1973年

1982年

人口2万人突破

人口3万人突破

2020

町制施行 50周年



2020年

人口38,434人

2021

令和の森公園 オープン



2025年

人口37,416人

町制施行55周年 記念式典



産業祭と併せて、11月9日に町制施行55周年記念式典を行います。
全町で55周年をお祝いします。



記念式典



金婚式



子どもに優しい
まちづくり宣言



タイムカプセル
開封式

町制施行55周年 記念アートの製作



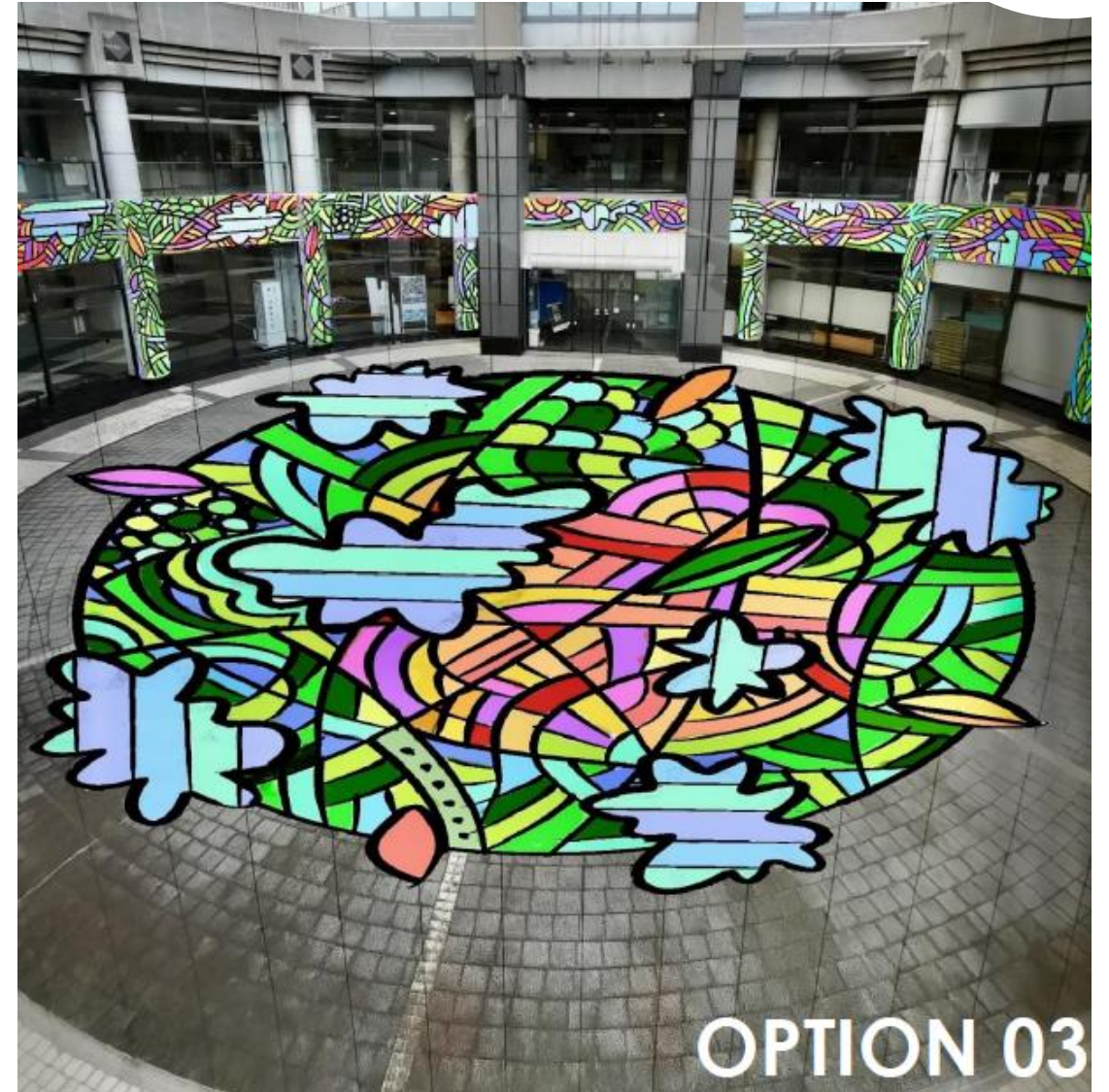
バティックアーティストとして活躍されるリム氏が役場エントランス広場に
共生社会の実現記念アートを製作します。



リム・アヌア氏



1969年に聴覚障害を持って生まれる。
3歳のときにマレーシアのろうあ者向け学校に通い、学校でアートに興味を持つ。
アーティストとしてスキルを磨いた後、バティックアーティストとして成功。彼の情熱と努力は、障がい乗り越えて成功を目指す人にインスピレーションを与えます。



※アート案であり、内容は変更となる場合があります

令和7年度の トピックス

- 01 町制55周年
- 02 **藤久保地域拠点**
- 03 共生社会の実現に向けた取組
- 04 CFCI 子どもにやさしいまちづくり
- 05 (仮称) 地域活性化発信交流拠点
- 06 共創のまちづくり

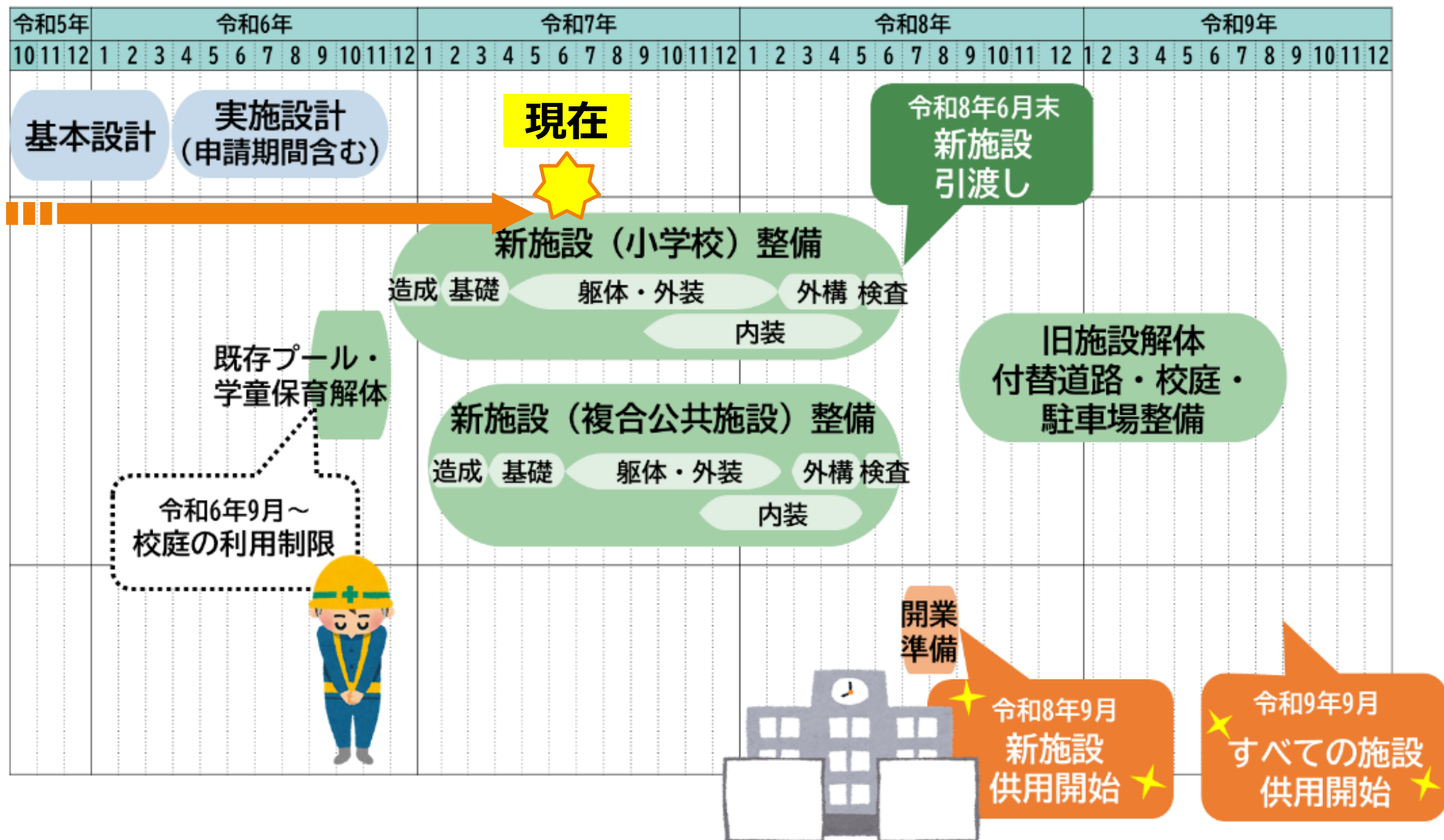
藤久保地域拠点 令和8年9月に新施設供用開始を予定



藤久保地域拠点 令和8年9月に新施設供用開始を予定



藤久保地域拠点 整備スケジュール



藤久保地域拠点 工事の様子

藤久保小学校の校庭に、建物の1階部分を造っています。

2024.07撮影



2025.05撮影

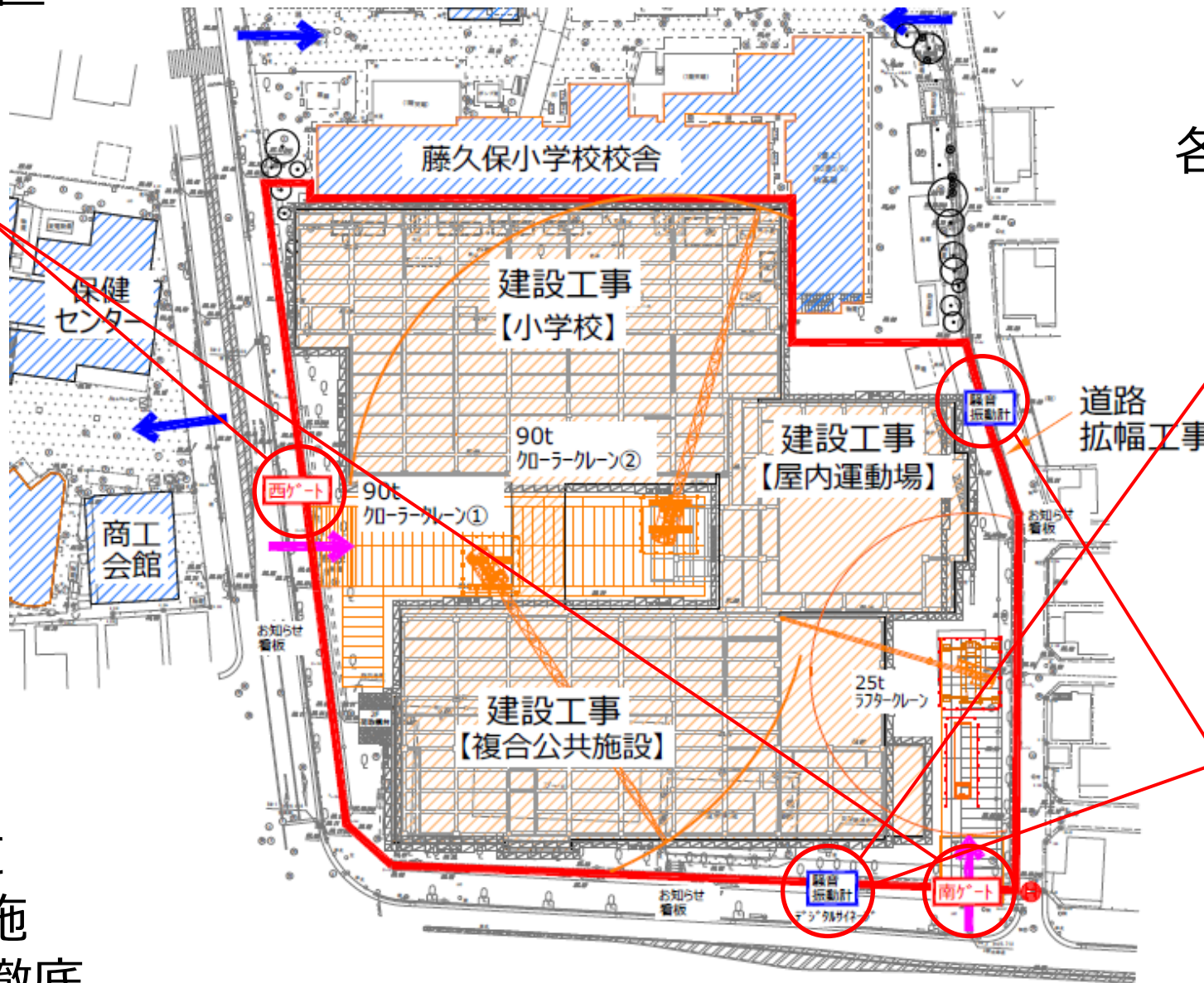


藤久保地域拠点 安全安心な工事体制

入退場時に警備員を配置



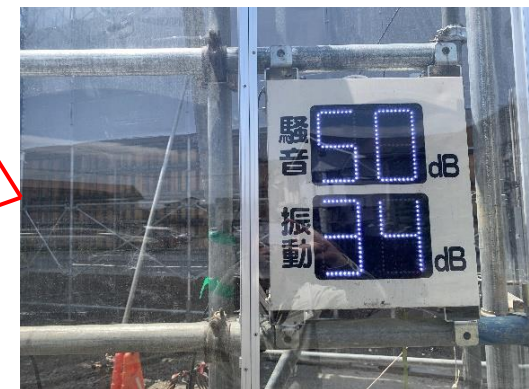
現場に入る職人全員に
「新規入場教育」を実施
現場内外でのルールを徹底



各所に透明パネルを設置



デジタルサイネージで
情報発信



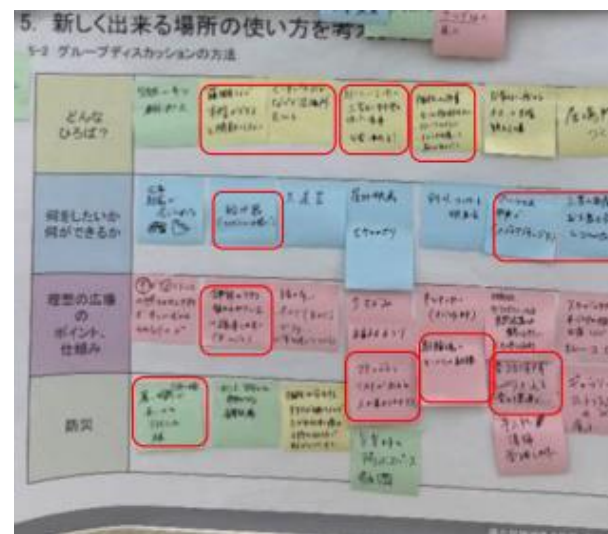
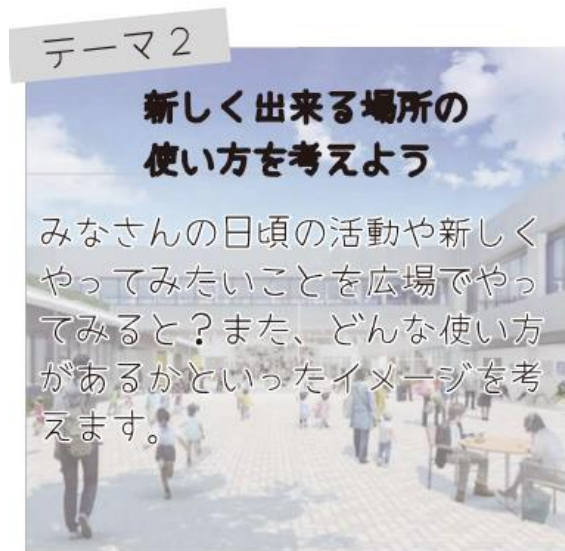
騒音・振動の管理¹⁵

藤久保地域拠点 施設活用方法の検討

施設の建設工事を進めるとともに、町民ワークショップで集めた地域の皆様のご意見も参考にしながら、施設の活用方法についても検討を進めております。



サイン計画・家具計画・内装の色彩計画などを通して
イメージの実現を目指します



藤久保地域拠点 こどもの学習とCFCIに関するこれからの取組

藤久保小学校児童に対し、
工事期間ならではの学びの機会の創出に取り組んでまいります。

全学年を対象

職業紹介

- ・ 設計士（工事監理）
- ・ 現場管理
- ・ 各工種職人



現場見学



1～4年生向け

サインデザインとアクセントカラー ワークショップ



5年生向け

児童館屋外広場遊具選定 ワークショップ



6年生向け

広場家具作成ワークショップ

ふじくぼ広場に設置の家具
（机、ベンチ）を作成



藤久保地域拠点 施設愛称募集

新しい施設が長く地域や利用者に愛されるよう、愛称募集を実施しました。
多数のご応募ありがとうございました。以下3案へ絞り込みを行いました。



応募総数 **699** 件！

8/1より愛称を選ぶ
アンケートを行います

○
Selesa
(セレサ)

マレーシア語で「**快適な**」
を意味

沢山の人々が快適に集う
素晴らしい場所へ

○
Lumina
(ルミナ)

英語で「**輝く**」
を意味

やわらかく輝く未来拠点にて
集い・学び・育つを目指して

○
Colere
(コレル)

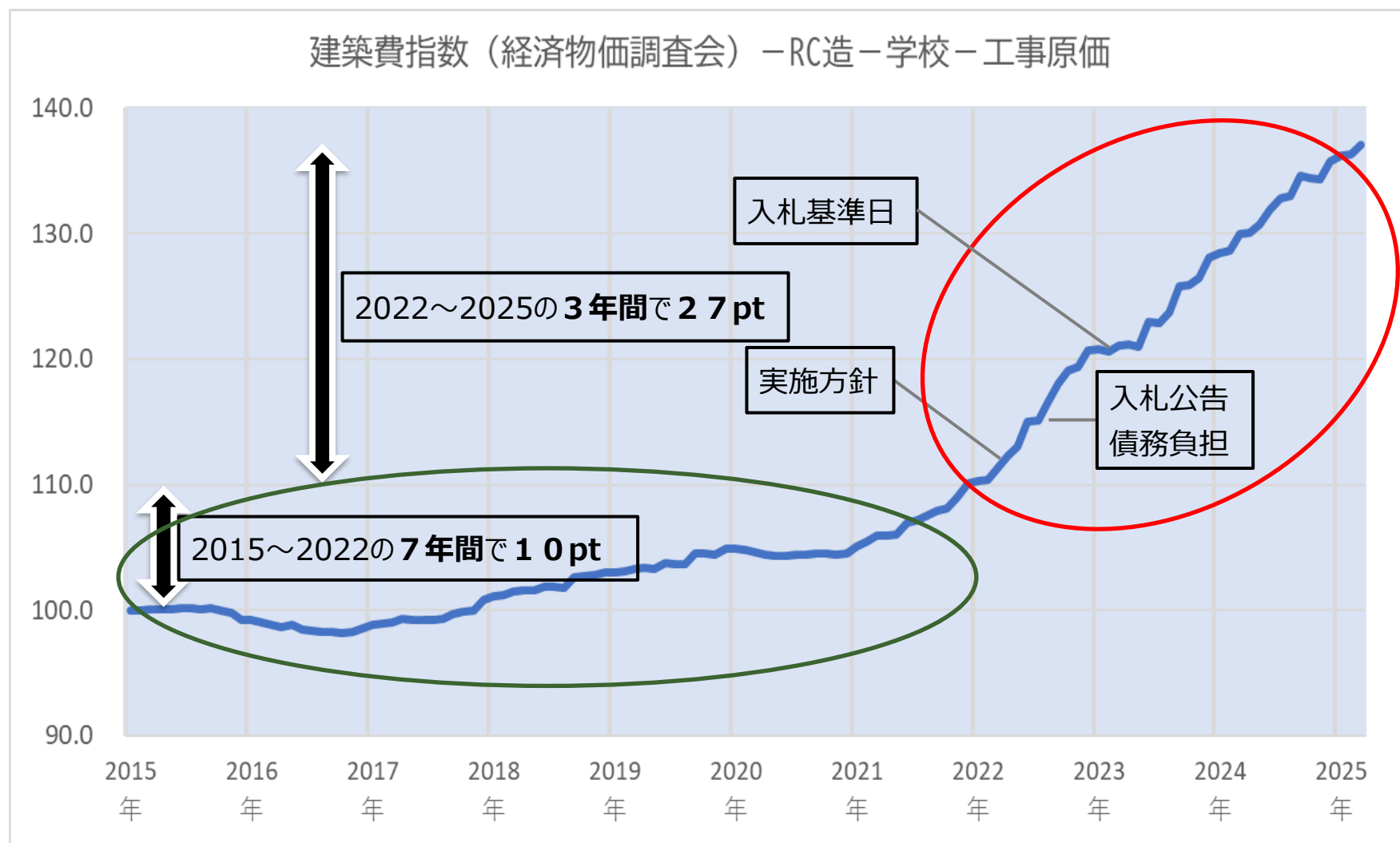
ラテン語で「**耕す・住む**」
を意味

人々の心を耕し、文化や
暮らしをはぐくんでいく場へ

新愛称は、町制施行 55 周年記念式典にて発表します。

藤久保地域拠点 物価上昇等への対応

原材料や燃料などの高騰や人件費の上昇などにより、
建物の建築費もここ数年で大幅に上昇しています。



2022年以前
7年間で10ポイントの上昇

2022年以降
3年間で27ポイントの上昇



藤久保地域拠点 物価上昇等への対応

中野区の中野サンプラザ再開発の中断など、ニュースなどでも物価上昇等を理由に事業の中止や事業費の増額などの例が多く伝えられています。

■中野サンプラザ再開発（東京都中野区）

2021年（事業者選定）：1810億円
2024年（事業費変更）：2639億円
2024年（再増額通知）：3500億円

⇒基本協定解除の方針

■次世代型スポーツ施設（さいたま市与野）

2023年（基本計画）：52億円
2025年（入札公告）：130億円（不調）

■ふじみ野市文化施設整備事業（ふじみ野市）

2020年（事業契約）：86億円
2025年（契約変更）：114億円

■鹿児島県新総合体育館（鹿児島県）

2022年（基本構想）：245億円
2024年（入札公告）：313億円（不調）
2025年（見直し）：536億円
2025年（規模縮小）：488億円（契約締結）

藤久保地域拠点 物価上昇等への対応

**藤久保地域拠点施設整備事業は、現在まで計画通りに進んでいます。
しかしながら、物価高騰や地下埋設物の影響により事業費が増加し、
対応のため約20億6,204万円の追加予算を設定しました。
事業費の精査を行いながら、今後も安全に事業を進めてまいります。**

当初契約は、20年間の維持管理・運営を含め、96.7億円（税込）

増額内容

物価上昇による建設費の増額	18.7億円(税込)
地下埋設物処理にかかる増額	0.946億円(税込)
維持管理運営に係る人件費の増額	0.968億円(税込)



契約変更に向け、
更に事業費を精査
します。

令和7年度の トピックス

- 01 町制55周年
- 02 藤久保地域拠点
- 03 共生社会の実現に向けた取組**
- 04 CFCI 子どもにやさしいまちづくり
- 05 (仮称) 地域活性化発信交流拠点
- 06 共創のまちづくり

共生社会の実現に向けた取組

三芳町では、手話言語条例の施行やあいサポート運動、みよしWell-being宣言等、共生社会の実現に向けて取り組んできました。



平成27年12月10日



一人ひとりが互いの人権を尊重し、多様性を認め合い、支え合いながら誰もが自分らしく生き生きと暮らせる共生社会の実現を目指し、令和3年4月1日からパートナーシップ宣誓制度を開始しています

令和3年4月1日



令和6年3月23日

共生社会の実現に向けた取組

東京2020オリンピック・パラリンピックでは、 オランダ女子柔道チーム及びマレーシアパラリンピック選手団のホストタウンに！

マレーシアパラリンピック代表選手団

オランダ女子柔道チーム

5個のメダル
を獲得



サンネ・ヴァン・ダイケ選手が銅メダルを獲得！

「世界一子どもが幸せな国」と言われるオランダ！
「子どもにやさしいまちづくり」を考えるきっかけにも



共生社会の実現に向けた取組 デフリンピック

誰もが個性を活かし力を発揮できる「共生社会の実現」を目指す
東京2025デフリンピック大会が11月に開催されます。
三芳町では、マレーシア選手団のホストタウンとして
選手団の応援や交流を行うことで、多様性の理解を深めます。

デフリンピックとは、

聞こえない（デフ）アスリートを対象とした
国際総合スポーツ競技大会。

ホストタウンの締結



審判の合図は笛だけでなく旗で

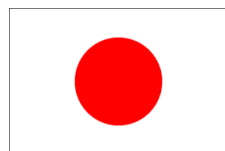


共生社会の実現に向けた取組 デフリンピック

埼玉県出身の門脇選手をお呼びし、デフリンピックの機運醸成イベントを開催。
今後も、応援イベント・町民の日式典での壮行会などを予定しています。

3月29日にデフリンピアントークショーを開催しました

今後の予定



門脇翠選手▶

東京2025デフリンピック
日本代表に内定！
女子4×100mリレー
混合4×400mリレー



【日本代表歴】

- ◆夏季デフリンピック競技大会
 - ・2013年ブルガリア大会 100m 準決勝敗退、4×100m 6位入賞
- ◆世界デフ陸上競技選手権大会
 - ・2012年カナダ大会 100m 準決勝敗退、4×100m 5位入賞
 - ・2016年ブルガリア大会 200m 準決勝敗退、4×100mリレー 5位入賞
- ◆アジア太平洋ろう者競技大会
 - ・2015年台湾大会 100m、200m、4×100mリレーの3種目にて金メダル獲得（三冠達成！）

5月下旬	デフリンピック個人・団体サポーターの募集
6/29	大会20週前イベント（総合体育館）
8/30	HANDSIGN手話ダンスコンサート（文化会館）
9/6	大会10週前イベント（みよしまつり）
10/5	町民体育祭にて応援イベント
11/4～ 11/20	マレーシア選手団三芳町事前キャンプ
11/9	町民の日式典で壮行会、 競技体験会、ボーリング大会
11/15～ 11/26	現地観戦応援団

共生社会の実現に向けた取組 国際交流

三芳町では、長年に渡り、国際交流事業を進め、
多文化理解による共生社会の実現に取り組んできました。

マレーシア



初の姉妹都市



共生社会ホストタウン

韓国

世界農業遺産に認定された、韓国河東(ハドン)郡の中学生との交流を実施



中国

- R1年
中国北京市郊外の宣化の「宣化のぶどう栽培の都市農業遺産」と「宣化・武蔵野」共同宣言を実施



オーストラリア

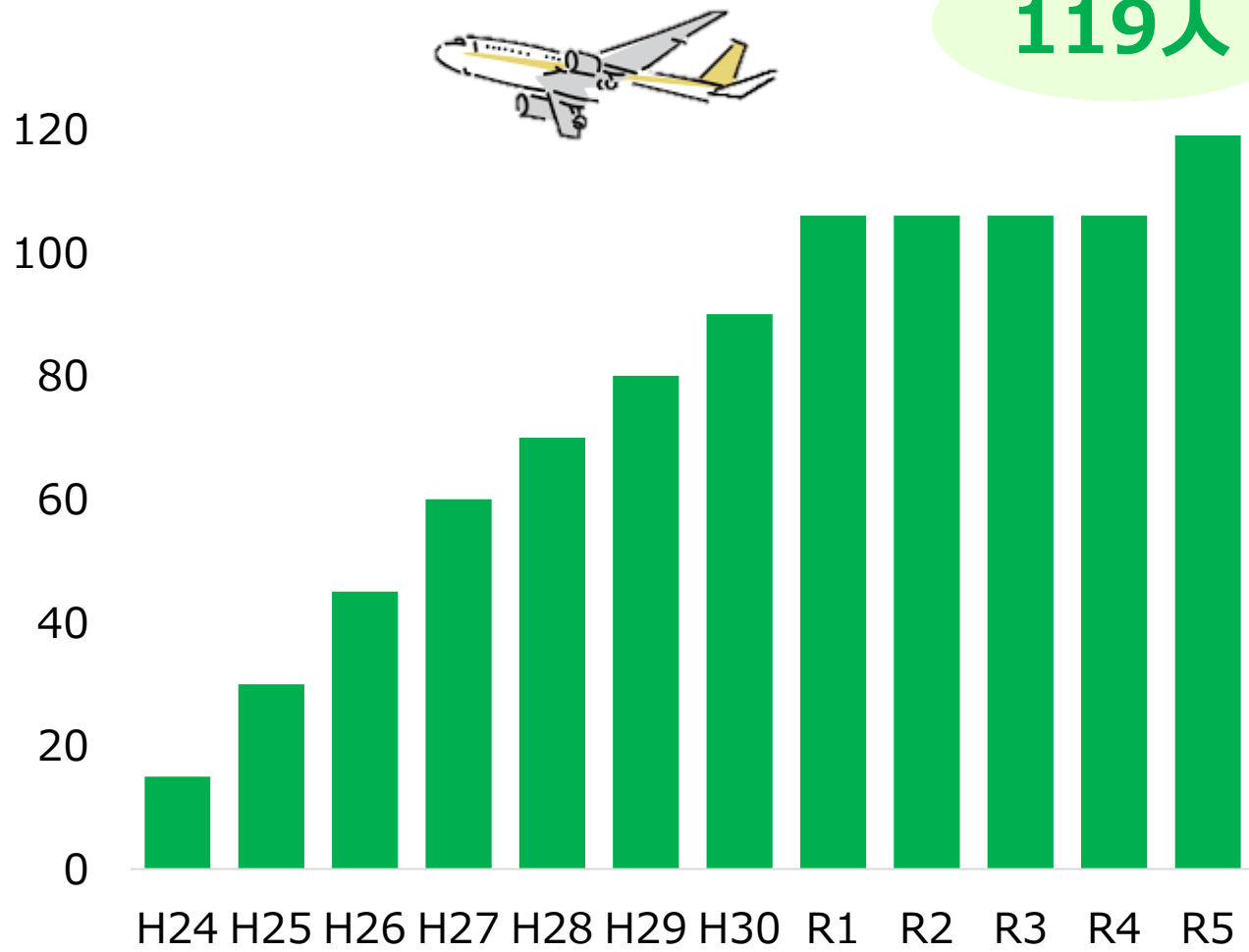
- H9年～H20年
中学生をオーストラリアへ海外派遣
- H22年
ブリスベン市の少年少女親善団を受け入れ、交流



共生社会の実現に向けた取組 国際交流の実績

H24～R5年度に実施をした中学生の海外派遣は、令和5年度末までに119人に。

累計海外派遣者数



オランダ親善大使による報告会

食文化や芸術、現地校生徒の価値観、ホストファミリーの紹介など、町の中学生に伝え、大使としての任務を果たしました。



R6.2.15藤久保中学校での報告会

共生社会の実現に向けた取組 体験感想



2024年度
オランダ

私は中学生海外派遣を通して言語の壁は超えられると思いました。実際、相手の言っていることが分からなかったり、自分の英語が伝わらないことがありましたが、ジェスチャー等を使って通じ合えたことがうれしかったです。この貴重な体験で、**五感で異文化を感じ、国際感覚、語学力等少しでも身に付けることができました。**将来の夢である看護師になったときに、生かしていきたいです。



2023年度
マレーシア

私は、マレーシアで考えた「**リーダーとしてすべきこと**」を**これからの生活に生かしていこう**と思います。私はこの**海外派遣をきっかけに生徒会長に立候補しよう**と思いました。学校のリーダーとして、すべきことをしっかりできるようにしようと思います。

共生社会の実現に向けた取組 総務大臣賞の受賞

三芳町の国際交流が第19回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）を受賞

■自治体国際交流表彰（総務大臣賞）とは

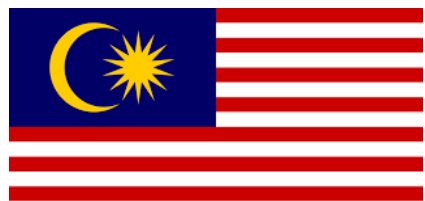
日本と海外の自治体の姉妹都市交流をはじめとした交流活動のうち、創意と工夫に富んだ取組を行っている団体を表彰するものです。



共生社会の実現に向けた取組 海外派遣

マレーシアへの海外派遣に加え、オーストラリアへの派遣を新たに実施します。

■ マレーシア派遣：10名



○ペタリングジャヤ市
R7.9/15～9/21
※6泊7日



- マレーシア伝統舞踏体験、文化交流
- PJ子どもに優しい都市博覧会参加
- クアラルンプール見学 etc…

■ オーストラリア派遣：20名



○クイーンズランド州
R7.10/12～10/22
※10泊11日

NEW



- ホスト校訪問
(Brisbane South State Secondary College)
- ホストファミリーとの交流
- ゴールドコースト散策 etc…

令和7年度の トピックス

- 01 町制55周年
- 02 藤久保地域拠点
- 03 共生社会の実現に向けた取組
- 04 CFCI 子どもにやさしいまちづくり**
- 05 (仮称) 地域活性化発信交流拠点
- 06 共創のまちづくり

CFCI 三芳町が「ユニセフ日本型CFCI候補自治体」に

令和6年12月にCFCI候補自治体に、埼玉県内初承認！

※2年間、庁内横断的な体制の構築やチェックリスト・評価軸の設定等の準備/検証作業を行い、「ユニセフ日本型CFCI実践自治体」としての承認を目指す自治体。

「子どもにやさしいまちづくり事業」とは、

国連総会で採択された「子どもの権利条約」を自治体レベルで具体化するための、ユニセフが主唱する世界的な活動。



※unicef「ユニセフの子どもにやさしいまちづくり事業」より



CFCI 令和6年12月に子どもの権利条例を制定

令和6年12月に三芳町子どもの権利条例を制定しました。

- 差別の禁止
- 子どもの最善の利益
- 生命、生存及び発達に対する権利
- 子どもの意見の尊重

国連

1989年 子どもの権利条約 を策定

国

2023年 子ども基本法

2023年 こども大綱 を策定

三芳町子どもの権利条例

誰一人取り残されず、子どもが幸せに暮らせることができる子どもにやさしいまちを実現することを目的としています。



CFCI 令和7年度のCFCIに関する取組予定

子どもまちづくり会議の開催

未来を担う子ども達から、今暮らすまちについて意見を聞き、まちづくりへの反映を目指します。

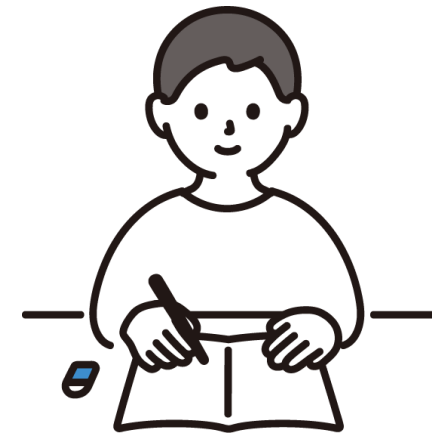


子どもの意見を具体化する補助金

子ども・若者の「こんなまちにしたい！」という想いを受け止め、その自主的なまちづくり活動を実現することを目指します。



補助率
10/10



CFCI 令和7年度のCFCIに関する取組予定

**自然と触れ合いができるプレイパークの設置に向け、視察を行いました。
遊びの主体となる子どもの意見を聴取しながら、令和8年度以降の実現を
目指します。**

子どもまちづくり会議での意見徴収

先進事例の視察

R6.8.2



世田谷区:羽根木プレイパーク

R7.5.2



川崎市:子ども夢パーク

令和8年度以降の実現へ



CFCI 令和7年度のCFCIに関する取組予定

**「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2025を
来年2月7日、8日にて三芳町で開催します。**

目的

- ①子ども施策の情報交換および経験交流
- ②自治体職員や専門家等の子ども施策に関する研修機会の提供
- ③「子どもにやさしいまち・コミュニティ」を推進し、ネットワークを構築する

▶6月3日 開催に向け、実行委員会会議を実施（オンライン）



昨年度開催をした名古屋市の様子



※子どもの権利条約総合研究所のfacebookより

CFCI 子どもにやさしいまちづくりの目指す姿

子どもの達の声に耳を傾け、「子どもにやさしいまちづくり」を推進し
誰もが幸せに生きられる社会を創ってまいります。

リヒテルズ直子氏

オランダ教育に精通した教育研究科



「どうしたら日本という国を幸福感の高い国にしていけるのでしょうか。それは、突き詰めて言えば、子どもたちの声に耳を傾けることだとわたしは思います。
子どもが幸せに生きられる社会は大人たちも幸せに生きられる社会です。」



**子ども達の幸せに生きられる社会を通して、
住民全体の幸せの向上を図ります。**



※西日本新聞HPより

令和7年度の トピックス

- 01 町制55周年
- 02 藤久保地域拠点
- 03 共生社会の実現に向けた取組
- 04 CFCI 子どもにやさしいまちづくり
- 05 (仮称) 地域活性化発信交流拠点**
- 06 共創のまちづくり

(仮称) 地域活性化発信交流拠点

2024年3月10日に三芳スマートICがフル化！ 1日あたり1.2万台が利用をしています。埼玉県南西部をはじめとした重要な出入口となっています。



スマートIC導入の効果

利便性の
向上

産業・物流
の効率化

企業の留
置・誘致

観光・商業
の活性化

広域防災の
拠点

(仮称) 地域活性化発信交流拠点

経緯

地域の魅力発信拠点の整備に向けて、取り組んできました。

- H30 ・ (仮称)三芳バザール賑わい公園基本構想の策定
- R2 ・ 三芳町都市計画マスタープランにおいて、
三芳PA周辺を複合交流拠点として位置づけた
- R5 ・ 政策研究所での検討と提言
- R6 ・ 三芳町第6次総合計画を策定し、基本計画施策として
「立地や特性を活かした産業振興」
「伝統農法の保全・継承」に位置付け
・ 機能に関する住民アンケート
- R7 ・ 基本計画の策定



八木信行 教授
東京大学HPより

東京大学大学院
農学生命科学研究科
農学国際専攻 教授



伊藤徹哉 教授
立正大学HPより

立正大学
地球環境科学部
地理学科 教授

らが出席

(仮称) 地域活性化発信交流拠点

基本計画策定に向けたこれまでの取組

前提条件の整理・基本方針の検討

利用ニーズ調査

導入機能及び施設規模の検討

配置計画の作成

概算事業費の算出

事業手法及び民間活力導入可能性調査

地域振興方策等の検討

事業スケジュール検討

基本計画（案）

利用ニーズ調査

本拠点の想定利用者を対象に、潜在するニーズを明らかにし、ターゲット分析や機能の検討に活かすことを目的として5つの利用ニーズ調査を実施しました。

Web
アンケート

三芳PA
利用者
アンケート

周辺
住民
アンケート

子育て
世代
アンケート

農業者
アンケート

導入機能及び施設規模の検討

以下10の機能に絞り込みを行いました。詳細は次ページ

物販機能

地域振興機能

飲食機能

休憩機能

情報発信機能

子育て支援機能

レクリエーション
機能

交通結節機能

体験機能

防災機能

(仮称) 地域活性化発信交流拠点 導入機能

地域振興機能



体験型ミュージアム



研修室

町を知る、広めることができる農と健康をテーマにした体験型ミュージアム。世界農業遺産など様々な研修で活用できる研修室

情報発信機能



デジタルサイネージ

観光や渋滞情報をデジタルで情報発信

子育て支援機能



キッズスペース



ベビーコーナー

子育てを支援し、子どもと子育て世代を中心にすべての人にやさしい訪れたいキッズスペース

農業・里山体験機能



落ち葉掃き体験

落ち葉堆肥農法の仕組みを体験

飲食機能



農家レストラン

地元農産物を使用した食事を提供する飲食施設

物販・アンテナショップ機能



農産物直売所

町の食品、食材、特産品などの販売や販売促進

(仮称) 地域活性化発信交流拠点 導入機能

休憩機能



屋根付き駐車場

道路利用者などが休憩できる機能
安全で円滑な動線を確保した駐車場

レクリエーション機能



芝生広場

防災機能



防災倉庫



非常用電源付きトイレ

発災時に拠点内の
人や周辺住民に
対応した防災施設



半屋外空間

多くの人で賑わうイベントや催し物等の
開催ができる施設

交通結節機能



路線バスの停留所

高速バスや路線バスの停留所

(仮称) 地域活性化発信交流拠点 検討案

機能を2拠点到分割設置をする
機能分担案を採用し、
財政負担を減らしながら事業を
進めてまいります。

事業費を圧縮しました

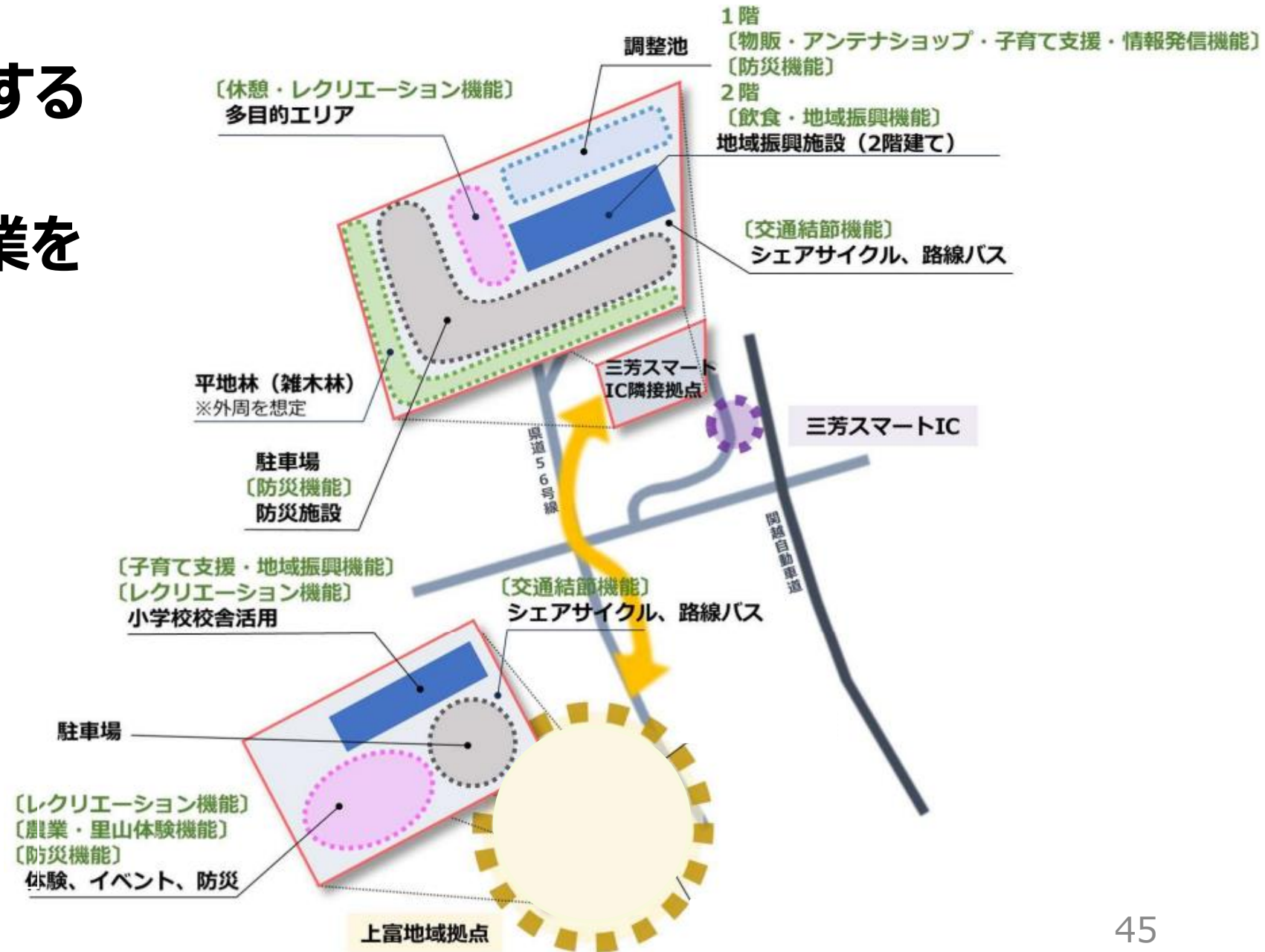
一体案

45～50億円



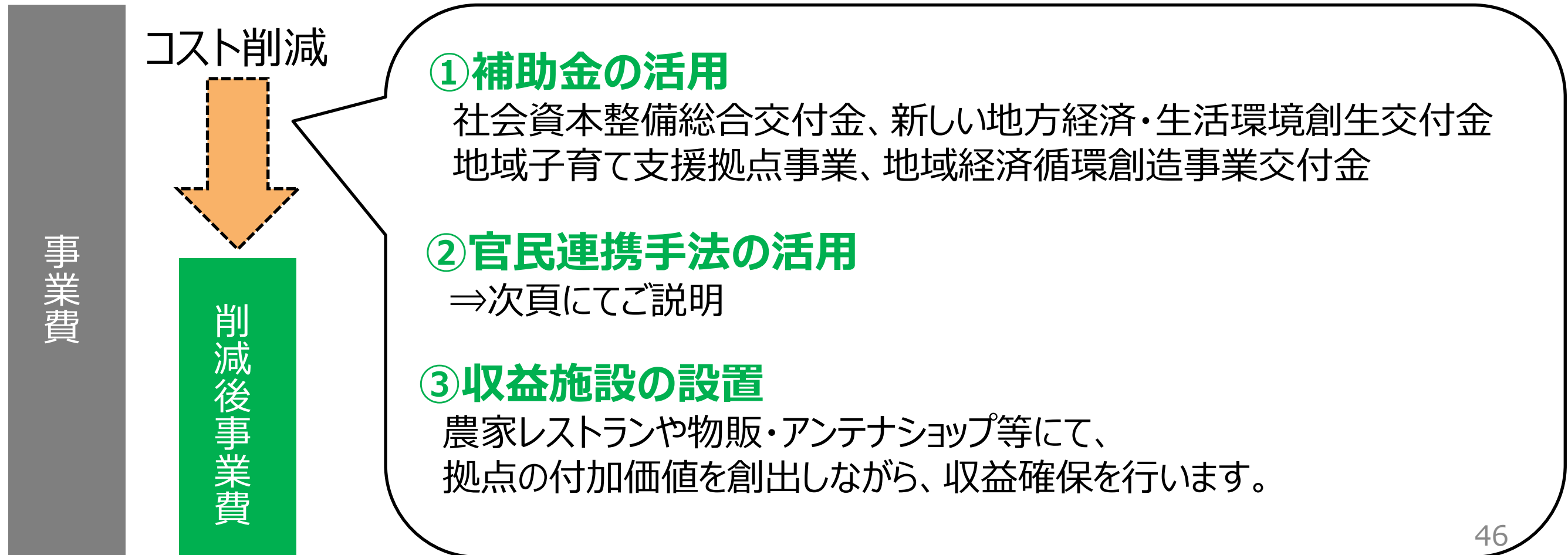
スマートIC
隣接拠点

23～25億円



(仮称) 地域活性化発信交流拠点 整備運営コストの削減

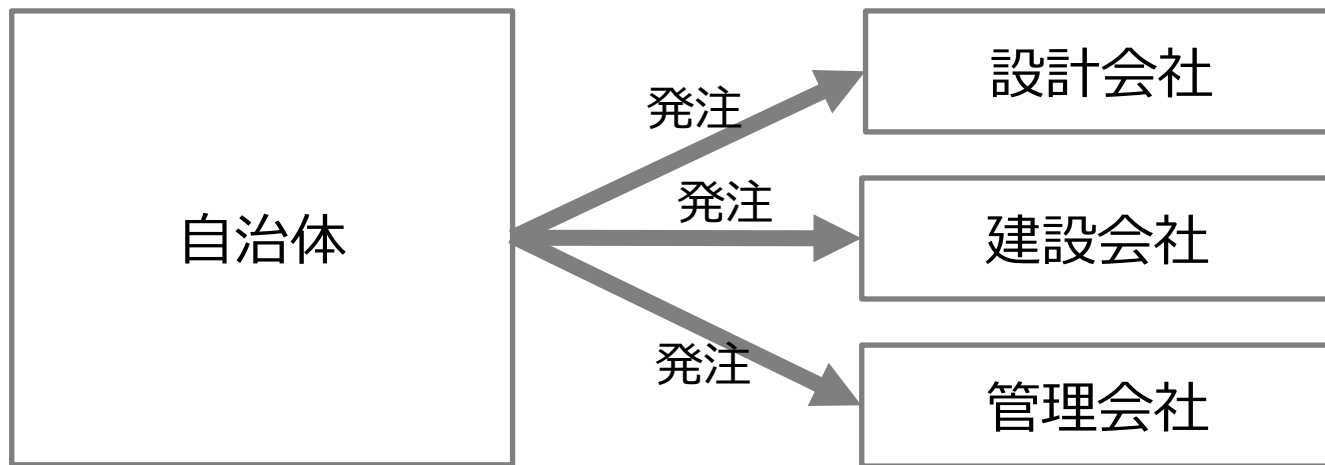
機能分担案の他、官民連携手法による一括発注や補助金の活用によるコストの削減を図るとともに、収益施設を通した運営コストへの補填を通じて、持続可能な施設運営を目指します。



（仮称）地域活性化発信交流拠点 持続可能な拠点整備に向けて

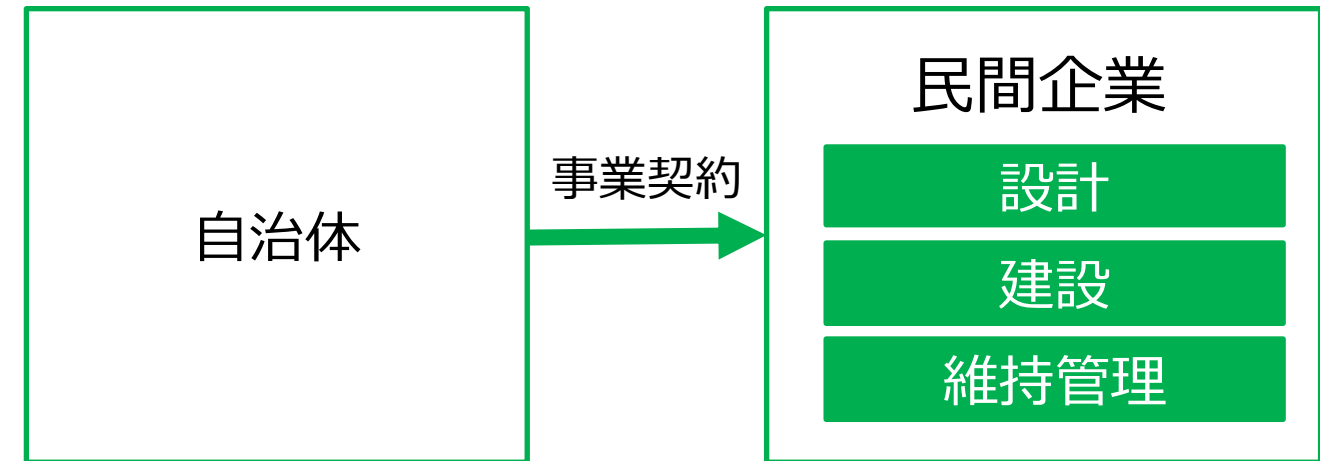
事業手法において官民連携の取り組みによる
ランニングコストの圧縮、民間ノウハウを活用したサービス向上を検討します。

一般的な公共サービス



- 設計、建設、維持管理、運営などを分割して管理。費用の大きい建設コストが重視され、維持管理のコスト意識がおろそかに、

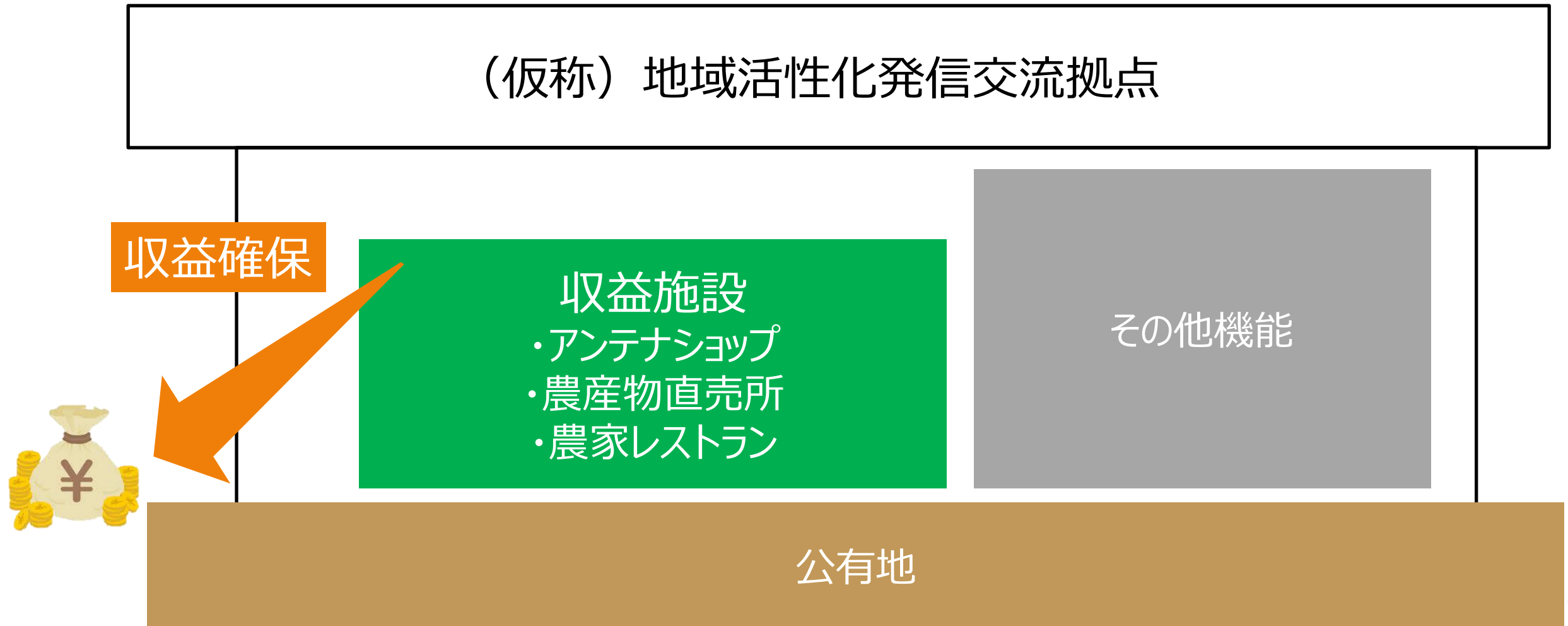
官民連携による公共サービス



- 一括発注によるコスト削減
- 整備運営の一体発注により、民間ノウハウを設計から管理運営段階まで反映することが可能となる

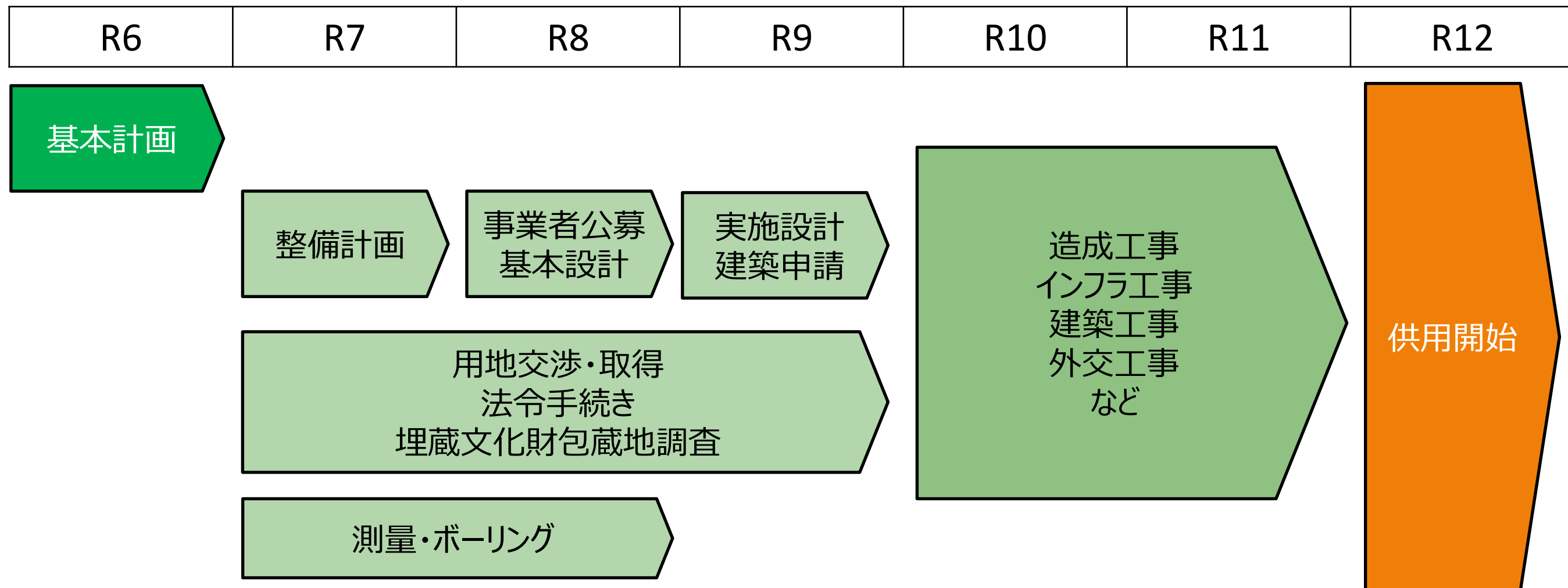
（仮称）地域活性化発信交流拠点 持続可能な拠点整備に向けて

（仮称）地域活性化発信交流拠点内に設置をする農家レストランや物販・アンテナショップ等にて、拠点の付加価値を創出しながら、収益確保を行い、持続可能な運営を目指します。



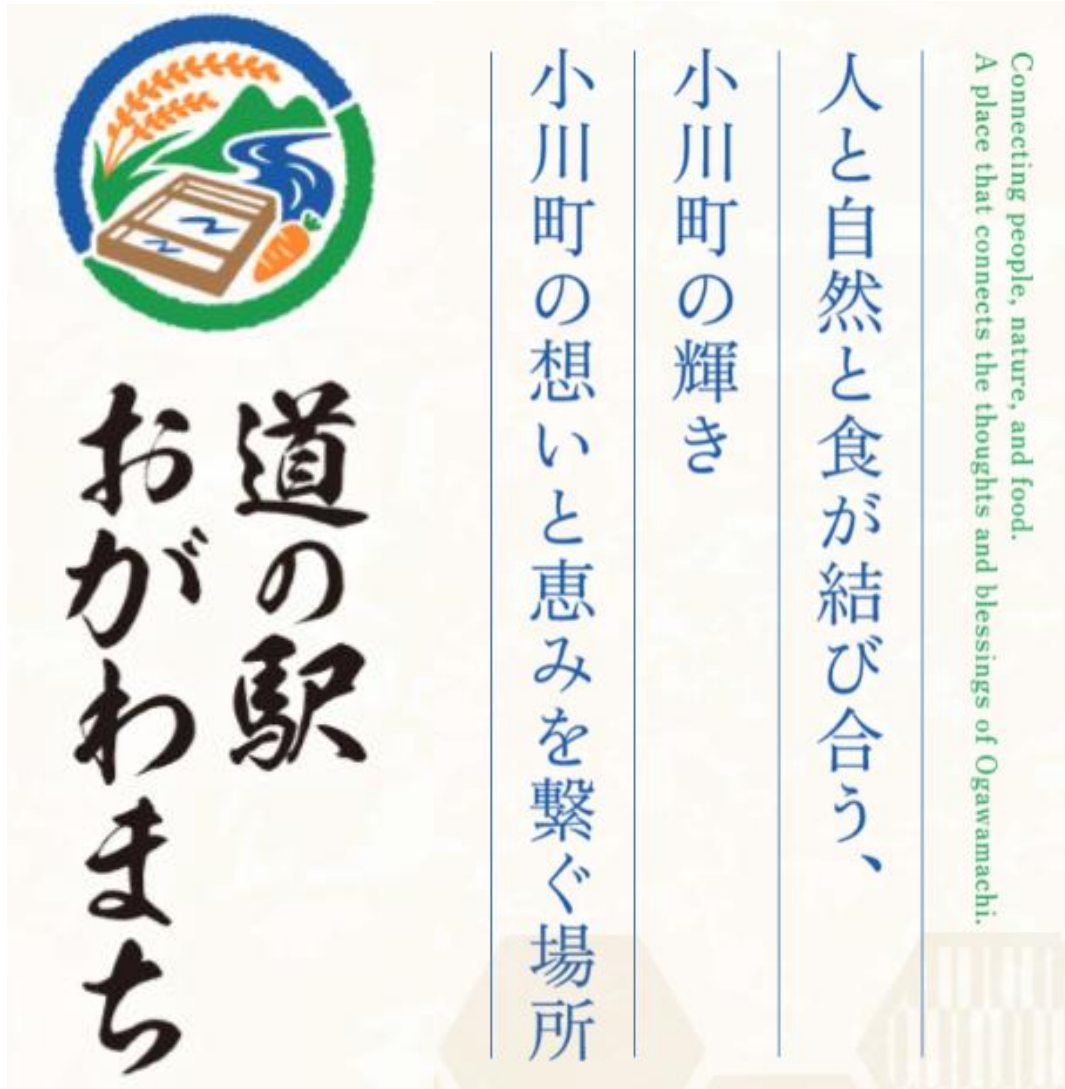
(仮称) 地域活性化発信交流拠点

令和12年の供用開始を目指し、各種手続きを進めていきます。



(仮称) 地域活性化発信交流拠点 他自治体の取組

5月30日、「道の駅おがわまち」がリニューアルオープン。



(仮称) 地域活性化発信交流拠点 他自治体の取組

地元産品の販売や伝統工芸「小川和紙」の体験など、
地域の魅力を体感できる施設です。

食事

里山ごはん食堂 
Satoyama Gohan



物産



伝統発信



（仮称）地域活性化発信交流拠点 他自治体の取組

北本ICに隣接する交通利便性を活かした「人と物が集まる拠点」として開業。
紅花や宿場町の歴史を取り入れ、地元産品や観光資源を楽しめる施設です。



(仮称) 地域活性化発信交流拠点 他自治体の取組

本庄市道の駅基本構想を策定しました

更新日：2025年06月02日

本庄市道の駅基本構想

「道の駅」の整備に向け、目的やコンセプト、課題等を整理した「本庄市道の駅基本構想」を策定しました。

今後、この構想に基づき「道の駅」の整備について検討を続けてまいります。

[本庄市道の駅基本構想\(PDFファイル:2.4MB\)](#)

[本庄市道の駅基本構想概要版\(PDFファイル:635.5KB\)](#)



このはなパーク上里

「このはなパーク上里」(関越自動車道上里SA周辺付近)では、おいしいお菓子やスイーツ、新鮮な農産物などが購入できるほか、トマトやいちご狩りも体験することができます。



令和7年度の トピックス

- 01 町制55周年
- 02 藤久保地域拠点
- 03 共生社会の実現に向けた取組
- 04 CFCI 子どもにやさしいまちづくり
- 05 (仮称) 地域活性化発信交流拠点
- 06 共創のまちづくり**

協働のまちづくりから共創のまちづくりへ

これまで進めていた協働のまちづくりをさらに進め、住民や団体の多様な主体が自らアイデアを出し、価値を生み出す共創のまちづくりを進めます。

協働

- 行政が主体
- 住民・団体と協力して取り組む。
- 役割分担が明確で、比較的トップダウン型。

H20.
6制定

▶ 協働のまちづくり条例

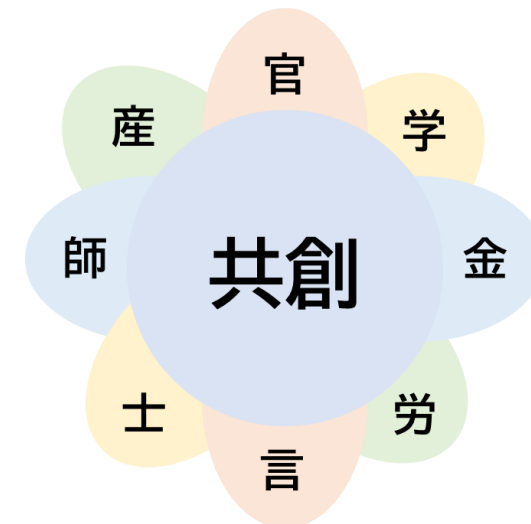


共創

- 住民、企業、団体、行政が主体
- 対等な立場で共に考え、共に創るプロセス
- ボトムアップ型の色合いが強い。

R7.4
制定

▶ 共創のまちづくり条例



共創のまちづくりに関する取組

住民や団体の多様な主体が自らアイデアを出す共創プラットフォームを創設。
様々な主体が生み出したアイデアの実現を目指します。

ドローン活用

案

- ・ 観光資源の活用
- ・ ドローン活用職員チーム養成
- ・ インフラ点検メンテナンス
- ・ キャリア教育
- ・ 農業技術



ガーデンツーリズム

遺産×食事×酒×買い物



「町長のオープンドア」はじまる！

「みよしmachi JAM」と「町長の事業所訪問」を統合して、新たに「町長のオープンドア」としてリニューアルします。

みよしmachi JAM



住民団体
向け

過去、29回実施

町長の事業所訪問



企業向け

過去、28回実施

町長のオープンドア

区分をなくし、
わかりやすくなりました！

- 町長が町内事業所や町内で活動する団体、個人を訪問し、意見交換を行います。



町長に
「会社の見学に来てほしい」
「活動の様子を見てほしい」
「意見交換をしたい」
といった希望があれば、
秘書広報室までご連絡ください。

本日お話するテーマ



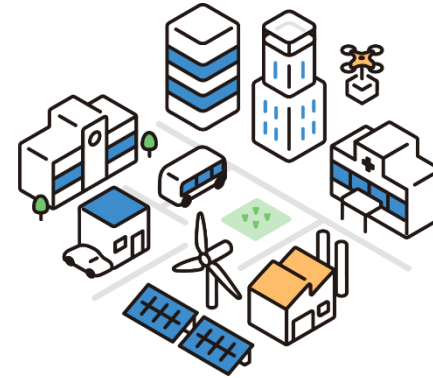
健康・福祉



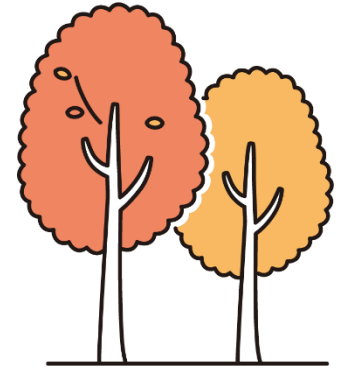
環境



子ども・子育て



都市・交通



観光・文化

本日お話するテーマ



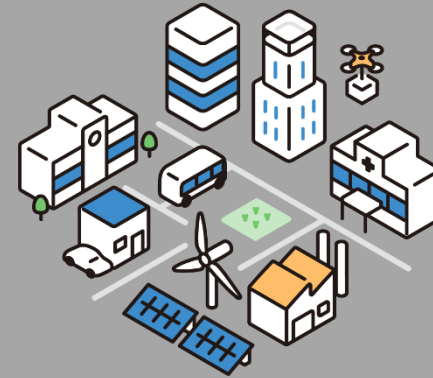
健康・福祉



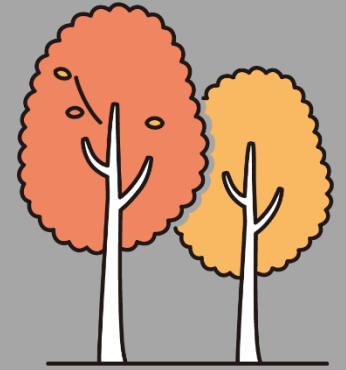
環境



子ども・子育て



都市・交通

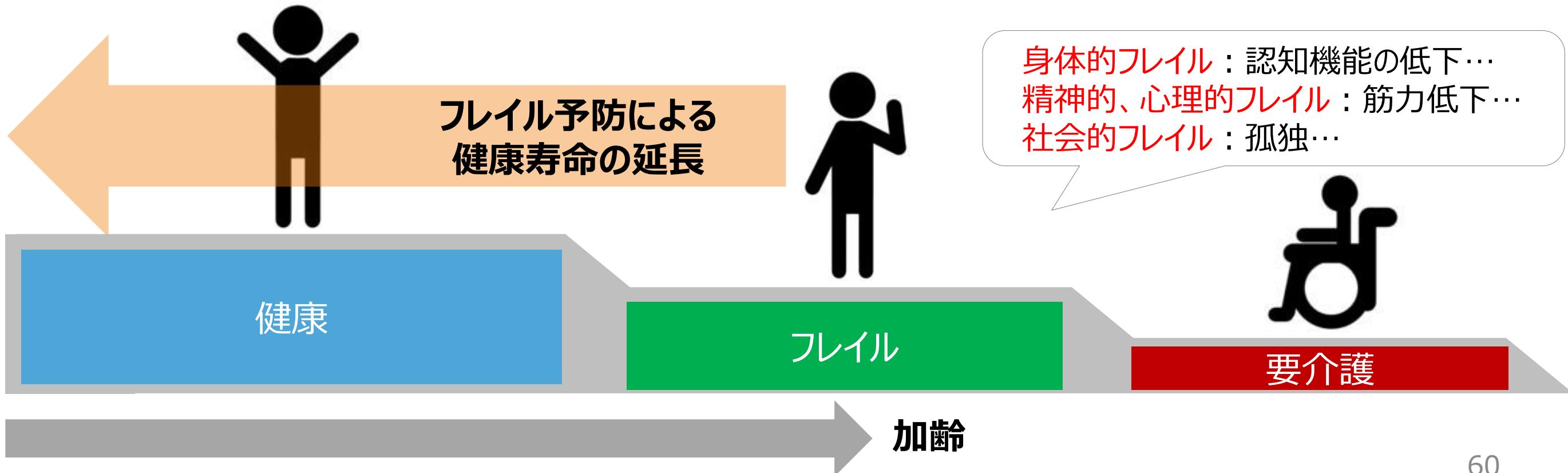


観光・文化

フレイル予防

フレイル予防に力を入れ取組むことで、加齢に伴う心身機能の低下を遅らせ、健康寿命を延ばし、活力ある地域社会の実現を目指します。

フレイルとは、 加齢に伴い、心身の機能が低下してきて、「健康」な状態と「要介護」の間の状態



フレイル予防 昨年度の取組

東京大学と連携協定



フレイル予防について
東京大学と連携をし
推進を行います

フレイルチェック測定会



**61名を
フレイルチェック**

フレイル予防講演会



東京大学高齢社会総合研究機構
機構長・未来ビジョン
研究センター 教授
飯島 勝矢 先生

NHK等のメディアにも
多数ご出演

飯島先生の講演会を開催

参加者数：88名

フレイルサポーター養成講座

**フレイルサポーター
として19名を任命**



フレイル予防 今年度のフレイルチェック測定会

今年度もフレイルチェック測定会を開催しておりますので、ぜひご参加ください。



8/15
(金)

10/17
(金)

12/19
(金)

2/20
(金)

本日お話するテーマ



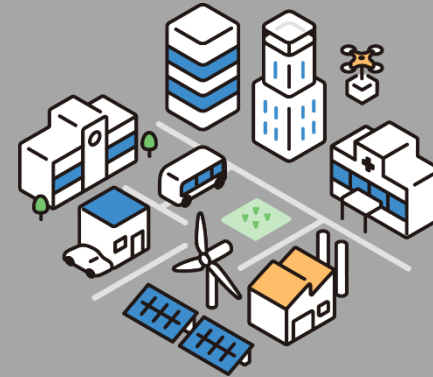
健康・福祉



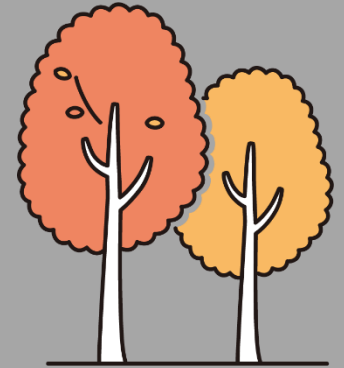
環境



子ども・子育て



都市・交通



観光・文化

地球の限界（プラネタリーバウンダリー）

プラネタリー・バウンダリー

- これ以上、人間が圧力をかけると、地球は回復不能になってしまうという閾値、臨界点のこと

今の状況は？

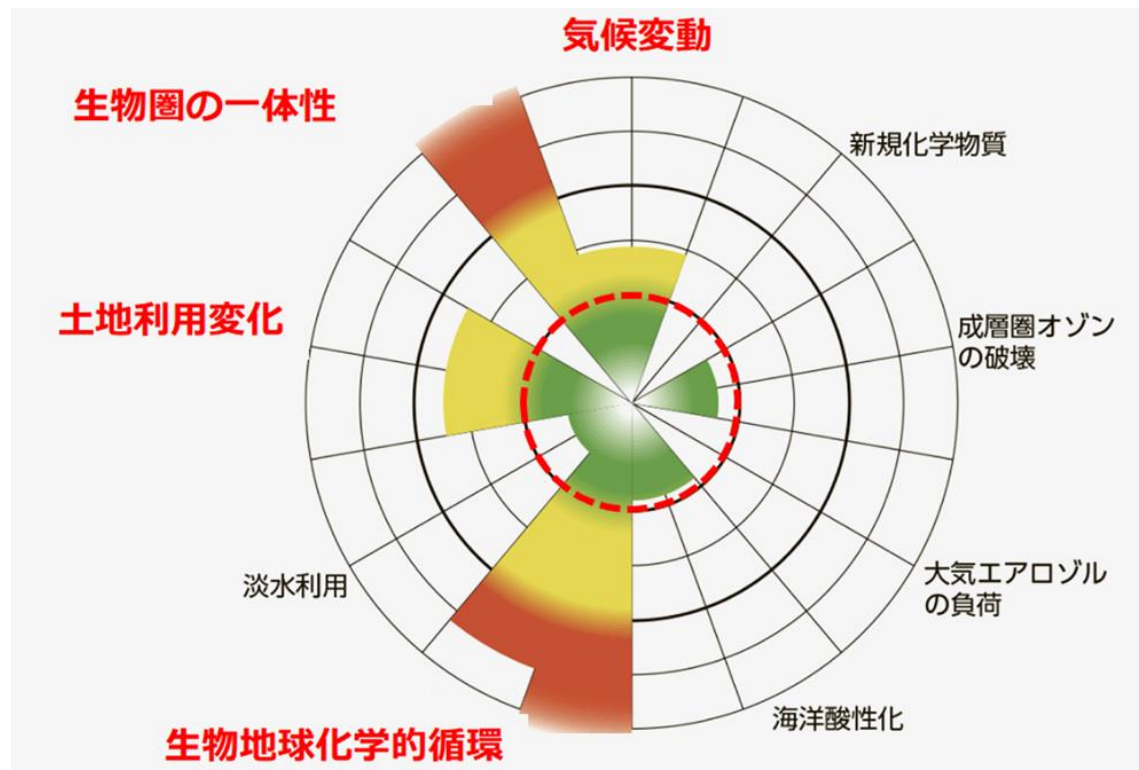
- 9項目のうち6項目は、地球の限界を超えている状態⇒**地球は限界に**



Photo © M. Axelsson/Azote

ヨハン・ロックストロム氏

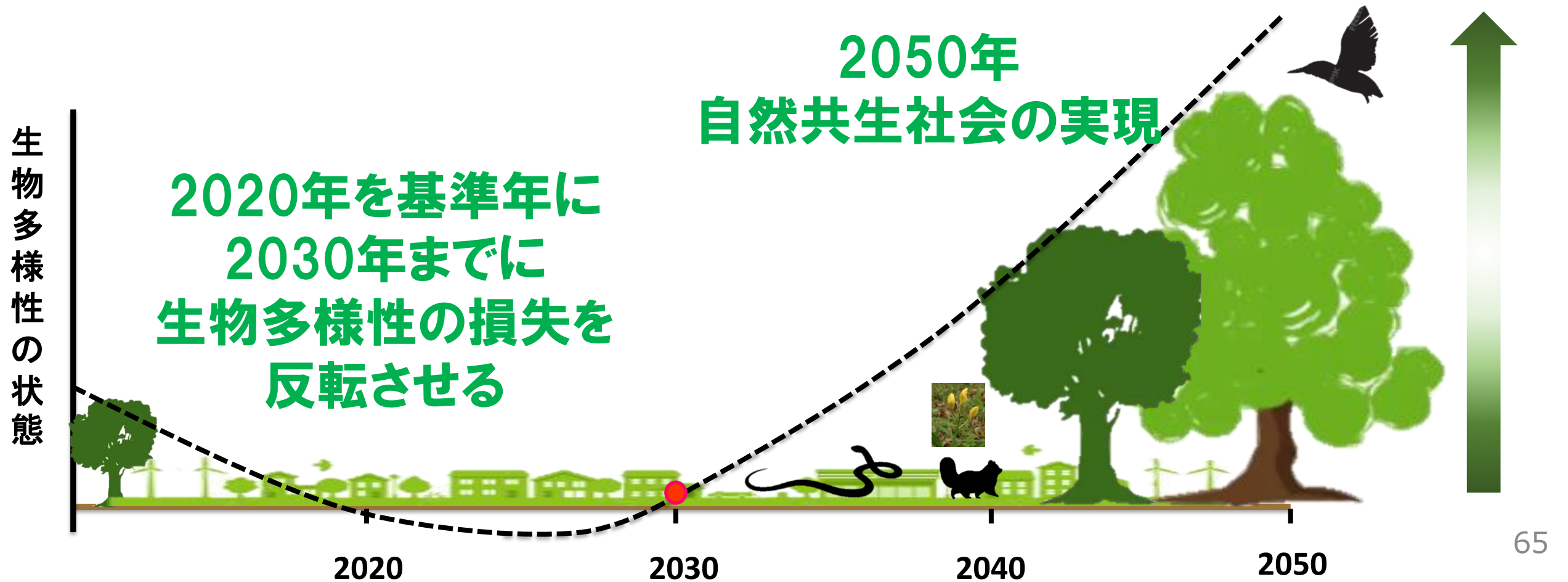
プラネタリーバウンダリーの提唱者
SDGsの概念を表す構造モデル
も提唱



地球の限界に対する取組（ネイチャーポジティブ）

ネイチャーポジティブ

- 「ネイチャーポジティブ」は自然を回復軌道に乗せるため、**生物多様性の損失を止め、反転させること**。
- 生物多様性の新たな世界目標である「昆明・モンリオール生物多様性枠組」や日本の生物多様性国家戦略においても、2030年に向けた目標として位置づけられ、世界の新たな潮流となっています。



ネイチャーポジティブに向けた取組

**三芳町では、令和5年3月にフォレストシティ構想を定め、
実質的なCO2排出量の削減や、次世代に農業をつなぐためのPR等を行った。**

■ こぶしの里で保全とホテル再生



■ 小学校へのビオトープ（継承）



■ 浄水場施設に太陽光パネル設置



■ まちかど花いっぱい活動



■ ガーデンツーリズムの実施



■ シェアサイクルの実証実験



本日お話するテーマ



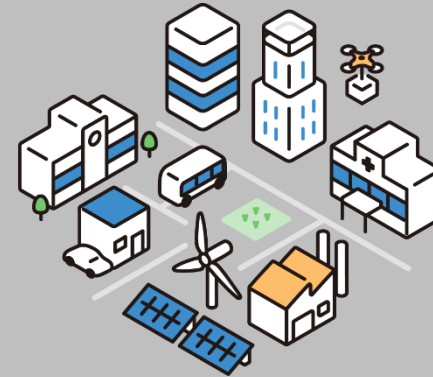
健康・福祉



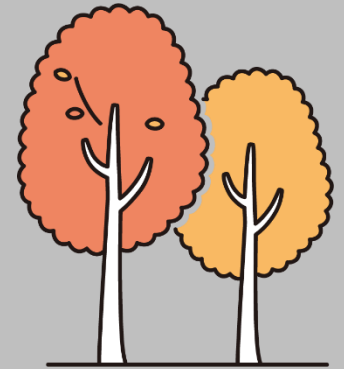
環境



子ども・子育て



都市・交通



観光・文化

学校体育館へ空調整備を実施

**令和7年度も、小中学校への空調整備を行います。
快適な運動環境を整える他、避難所としての防災機能も高めます。**

R5 以前

- H26：中学校3校（普通教室）
- H27：小学校5校（普通教室）

R6

- 上富小学校（体育館）
- 竹間沢小学校（体育館）
- 三芳中学校（体育館）
- 三芳東中学校（体育館）

R7

- 三芳小学校（体育館）
- 唐沢小学校（体育館）
- 藤久保中学校（体育館）

※藤久保小は、藤久保地域拠点施設整備により実施予定



小学校の統廃合の検討

三芳町小中学校適正規模適正配置検討委員会にて
子どもたちにとって望ましい教育環境について議論を行いました。

R5.2

三芳町小中学校適正規模適正配置検討委員会

学識経験者、行政経験者、地域住民、保護者、学校関係者の立場が異なる9名の委員で構成

町立小中学校の適正規模



多様な人間関係



協働学習



多様なクラブ活動

町立小中学校の適正配置



子どもの安全



心身の負担軽減

小学校

クラス替えが可能である1学年2学級以上

おおむね3km程度

中学校

クラス替えが可能かつ全ての教科で専門の
教員数を確保できる全学年で12学級以上

おおむね4km程度

小学校の統廃合の検討

三芳町学校再編等審議会にて審議の結果、上富小学校を三芳小学校へ令和10年度を目途に統合する答申が示されました。

三芳町立小中学校の再編について
(答申)

三芳町学校再編等審議会

2 答申（結論）

諮問に対する審議の結果、次の事項を答申とします。

①上富小学校を三芳小学校に令和10年度を目途に統合する
②竹間沢小学校の再編については保留とする
③三芳町立各中学校の再編については保留とする

なお、具体的な①～③の事由については、上記の基本的な考えをもとに、下記のとおり整理しています。

①上富小学校を三芳小学校に令和10年度を目途に統合する
上富小学校については、比較的緩やかな児童数の減少ではあるものの、令和6年4月時点で全校児童数97人、令和11年度入学予定者数が5人で全校児童数は77人になると見込まれています。上富地区はほぼ全域が市街化調整区域であり、今後の住宅開発や人口増、それに伴う児童数増が見込まれにくい現状です。このことから、上富小学校は令和10年度を目途に再編できるよう準備を進めていく必要があると考えます。
統合の形としては、校舎の規模や人数を考慮し、上富小学校を三芳小学校に統合することとします。これにより、上富小学校区の児童の通学距離が大幅に延びることが見込まれます。この点に関しては、保護者の懸念が最も大きい部分であることが、実施したアンケートからも明らかであり、スクールバスの導入など、児童の過度な負担とならない通学方法について十分な対応が求められます。

②竹間沢小学校の再編については保留とする
竹間沢小学校についても、比較的緩やかな児童数の減少であり、令和6年4月時点で全校児童数191人、令和11年度入学予定者数が17人で全校児童数160人になると見込まれています。基本方針が示す1学年2学級以上を満たす学年は1学年のみであり、協働的な学びの充実や多様な人間関係の形成などといった点において、状況は上富小学校と同様であると言えます。
しかしながら、竹間沢地区には市街化区域もあり、令和6年度中に新築大型マンションが完成するなど、上富との地域特性の違いから、今後人口増及び児童数増の可能性も見込まれます。また、少なくとも令和11年度までは1学年2学級の学年もあり、（1学級の人数も2桁を維持できる展望であることから、）今後の動向を見守っていく余地があると考えられます。
これらのことから、竹間沢小学校においては、児童数の推移等を注視しながら検討を継続することが望ましいと考えます。

6

① 上富小学校を三芳小学校に令和10年度を目途に統合
② 竹間沢小学校の再編については保留とする
③ 三芳町立各中学校の再編については保留とする

■今後の進め方

アンケート等
意見聴取

再編計画
策定

70 70

小学校の統廃合の検討 住民アンケートの結果

**5月実施の保護者アンケートでは、約6割が賛成という結果が示されました。
保護者の不安点もお伺いしながら、解消策と再編計画の策定を進めます。**

○アンケート募集期間

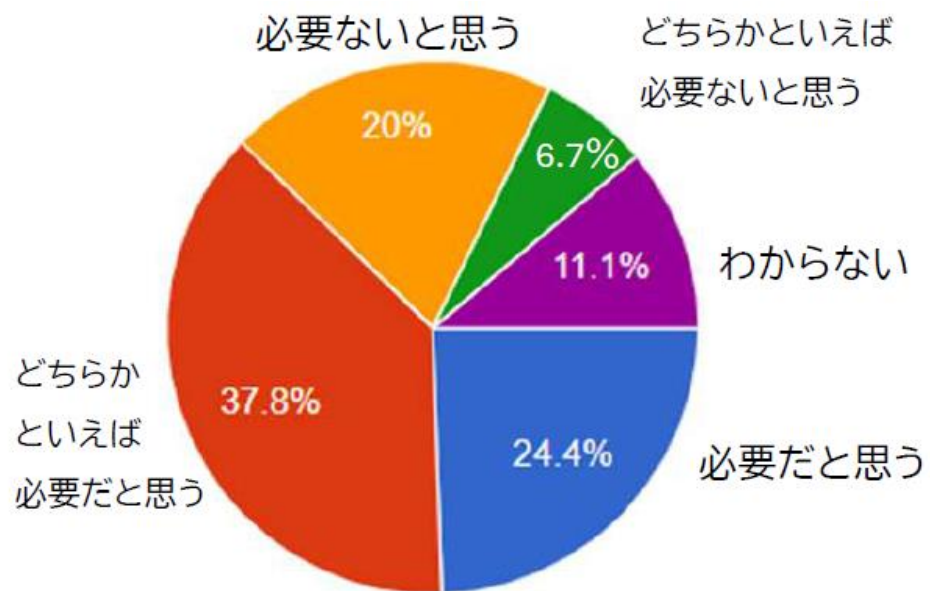
令和7年5月21日～5月30日

○対象者

上富小学校在校生児童保護者及び未就学児保護者

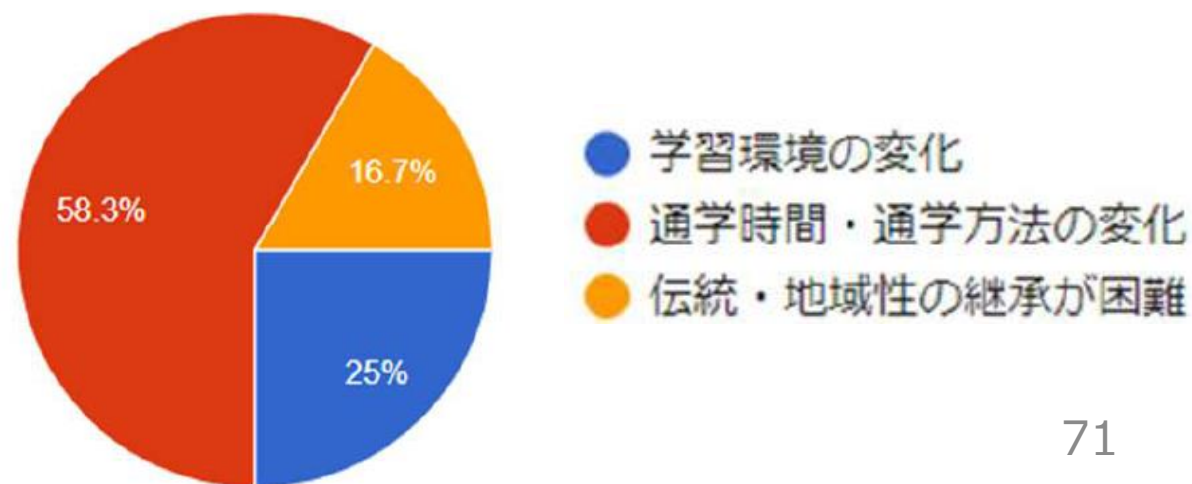
- 上富小学校と三芳小学校が統合することについての考え（1つだけ選択）

- 62.2%が賛成を示した



- 「必要ないと思う」「どちらかといえば必要ないと思う」と考える理由として最も近いもの（1つだけ選択）

- 通学に関する懸念点が多い
→スクールバスについて内容を固め、早い段階で保護者へ対応方針を示せるように努める



放課後子ども教室の開所

令和7年6月より、放課後こども教室を全小学校にて開設しました。
放課後の子どもたちが健やかに過ごせる環境づくりを提供します。



◀ 千葉県白井市の
放課後こども教室の様子

■ 当日のスケジュール例

放課後～15:00	初めの会
15:00～15:20	宿題・自由時間
15:20～16:20	体験活動
16:20～16:40	帰りの会

▶ 神奈川県小田原市の
放課後こども教室の様子



本日お話するテーマ



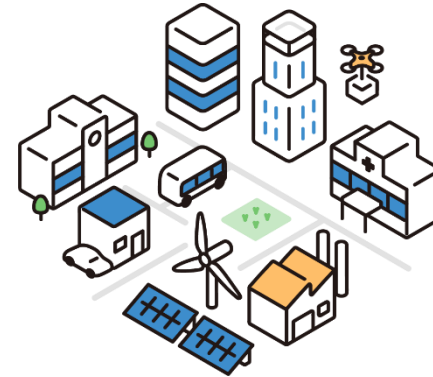
健康・福祉



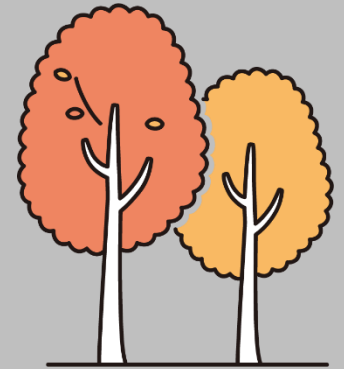
環境



子ども・子育て



都市・交通



観光・文化

役場庁舎敷地内にスケートパークがオープン

役場庁舎周辺で整備を進める令和の森公園エリアに、令和7年4月にスケートパークがオープンしました。

- スケートパーク





- ドッグラン広場



- アスレチック遊具



- 水辺広場



- 緑のトラスト保全第14号地



役場庁舎敷地内にスケートパークがオープン

「令和の森公園エリア」では、一体的な遊び場の整備を進めています。

H26

H27

R2

R4

R4

R5

R7



野球場



緑のトラスト保全
第14号地



遊歩道の整備



せせらぎ水辺広場



アスレチック
遊具



オムニコートへ



BBQ広場



ドッグラン



スケートパーク

公共交通 三芳町の取組

三芳町の抱える公共交通の課題に対して、長年取り組んできました。

公共交通空白



鉄道及びバス交通が利用可能な人口は、約25,100人であり、全人口の約66%

車社会の将来的不安



高齢者ドライバーの事故が増加

2024年問題



2024

路線バス運転手の不足

2011～2013

2016～2018

2018

2021

2021

2024

2025

政策研究所
での検討



デマンド交通



高齢者
補助制度



MaaS
実証実験



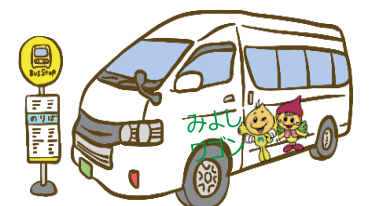
ライフバス
再編

8番線
新設

シェアサイクル
実証実験



循環ワゴン
実証運行



公共交通 公共交通計画の策定

未来に向けた公共交通システムの方角性を見出す
三芳町公共交通計画を2025年3月に策定しました。

■基本方針

誰もが移動しやすい
公共交通

まちづくりを連携した
公共交通

わかりやすい公共交通

既存交通
の維持



移動方法
の拡充



拠点間のアクセス整備



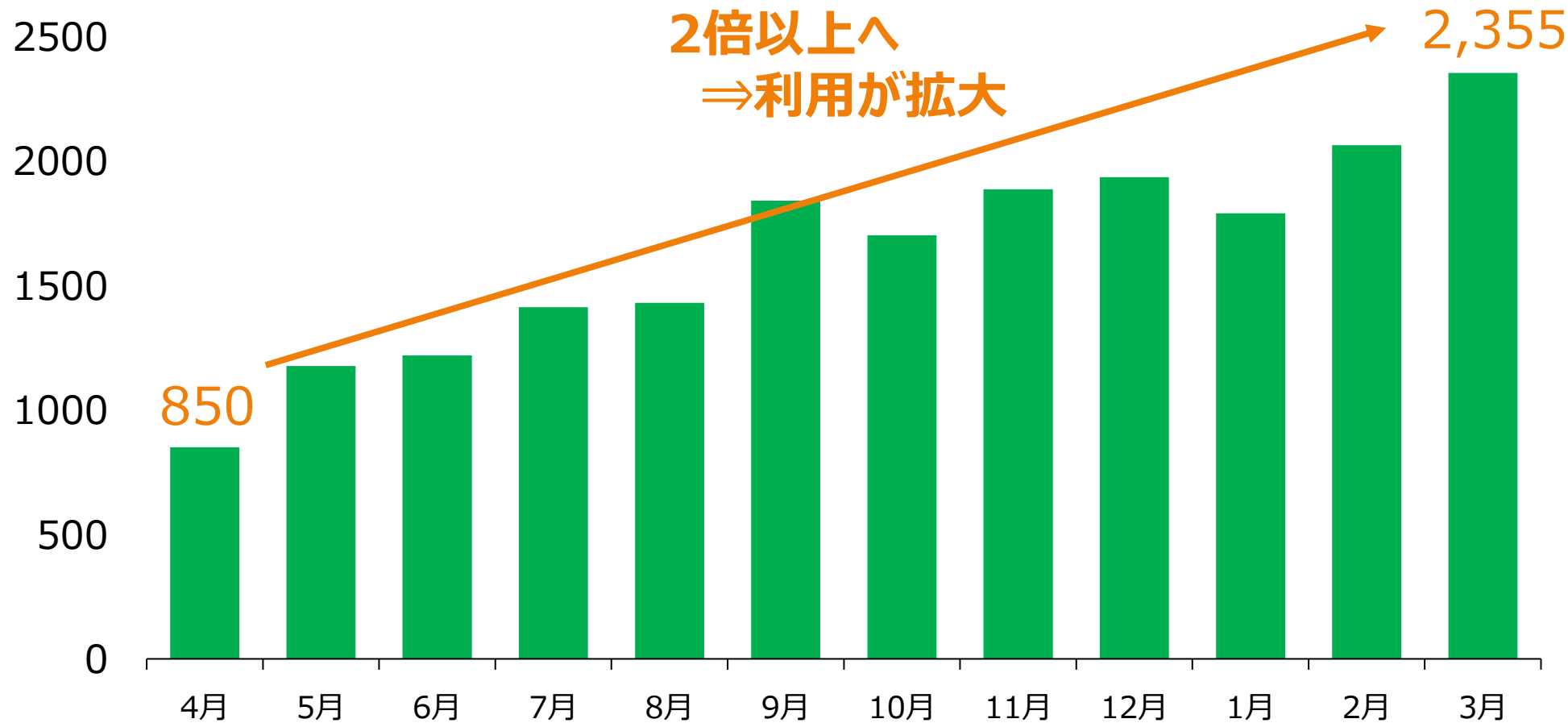
情報の周知



公共交通 シェアサイクルの本格運用開始

移動方法の拡充を目的に昨年度実施したシェアサイクルの実証実験が3月に終了。今年度より本格運用へ。

シェアサイクルの利用回数の動向（R6実績）



■ 利用金額

利用開始30分まで160円
（延長15分ごとに160円、
12時間あたり2,500円）
※車種により利用料金が異なります。

公共交通 シェアサイクルの使い方

STEP
01



アカウント作成

アプリで会員登録。
ICカードの登録と利用で
もっと便利に。

STEP
02



検索・予約

乗りたい場所の近くで
ステーションを探して
アプリでサクッと予約まで。

STEP
03



貸出し・返却

HELLOの提携ステーションなら
乗る場所も返す場所も自由。

公共交通 三芳町内のシェアサイクルステーション一覧



北松原公園
付近



埼玉セントラル
病院



藤久保第4区
第2集会所



三芳町立
中央公民館



三芳町役場



淑徳大学
埼玉キャンパス



イムス三芳
総合病院



俣埜公園



富士塚
第1公園



ふじみの
救急病院



かしの木
ケアセンター



北松原
第2公園



三芳町立
保健センター



北側子供広場



藤久保第6区
集会所



藤久保
第1公園



からさわ公園



北新埜
中央公園



北松原
第3公園



三芳町立
竹間沢公民館



三芳町
総合体育館

公共交通 三芳町内のシェアサイクルステーション例



公共交通 循環ワゴンの実証運行

公共交通計画に定めた拠点を結ぶ交通網として、
10月より循環ワゴンの実証運行を1年間始めます。

運行基本情報（案）

運行時間 9時～18時

運行本数 1ルート9便

運行ルート 3ルート
A：役場～上富・藤久保～鶴瀬駅
B：役場～北永井・藤久保～鶴瀬駅
C：役場～竹間沢・藤久保～みずほ台駅

車種 ワゴンタイプ（8人乗り・車椅子対応）

支払い方法 現金・キャッシュレス決済対応

期待される効果

鉄道及びバス交通が利用可能な人口

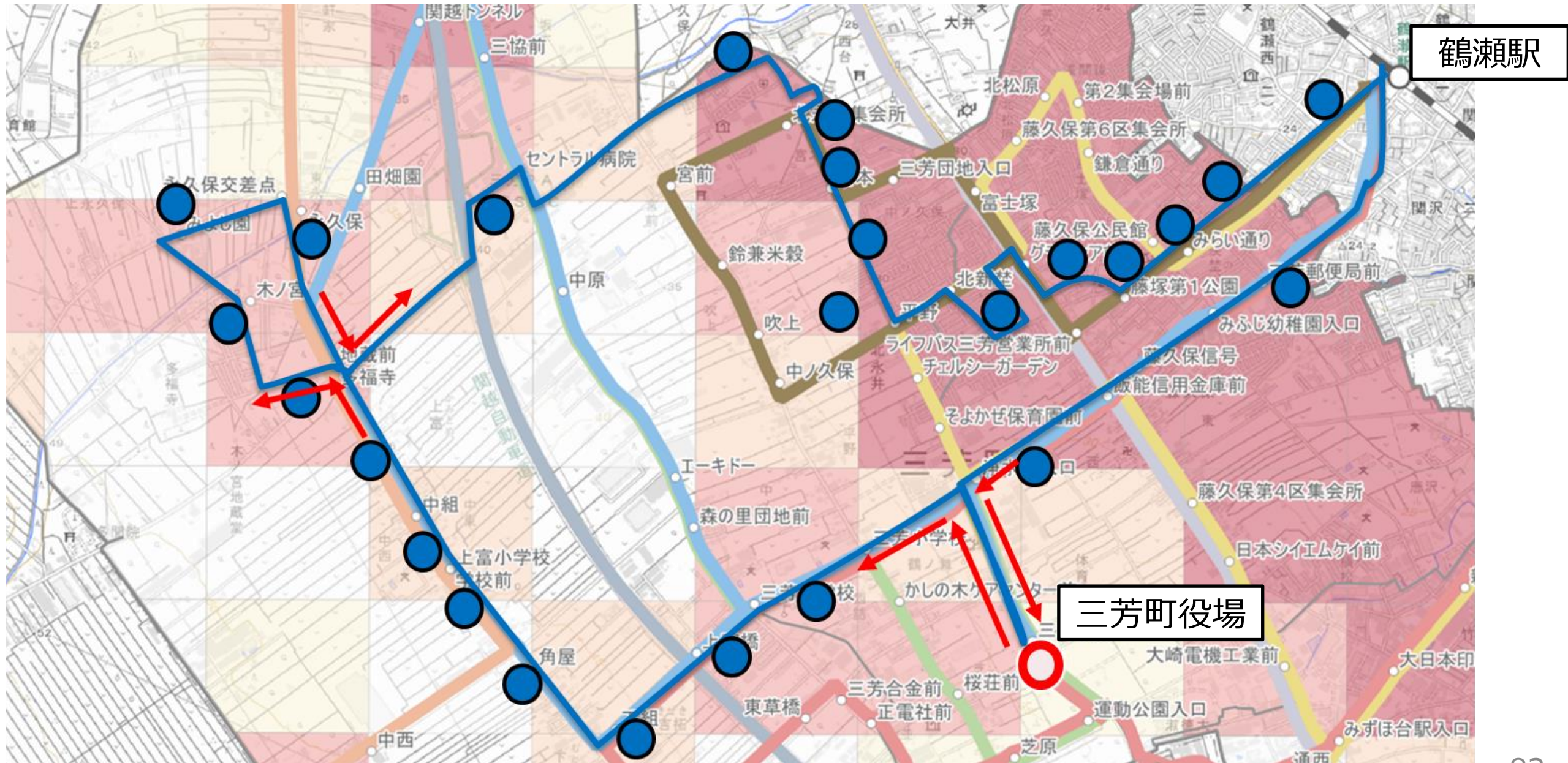
- ・ 約30,600人（+5,500人）
- ・ 全人口の約81%へ（+15%）



ルート案は次頁

Aルート：役場～上富・藤久保～鶴瀬駅

● バス停案



※コース及び停留所案については今後道路管理者や警察など関係者との協議等により変更となる可能性があります。

● バス停案



三芳町役場

84

● バス停案



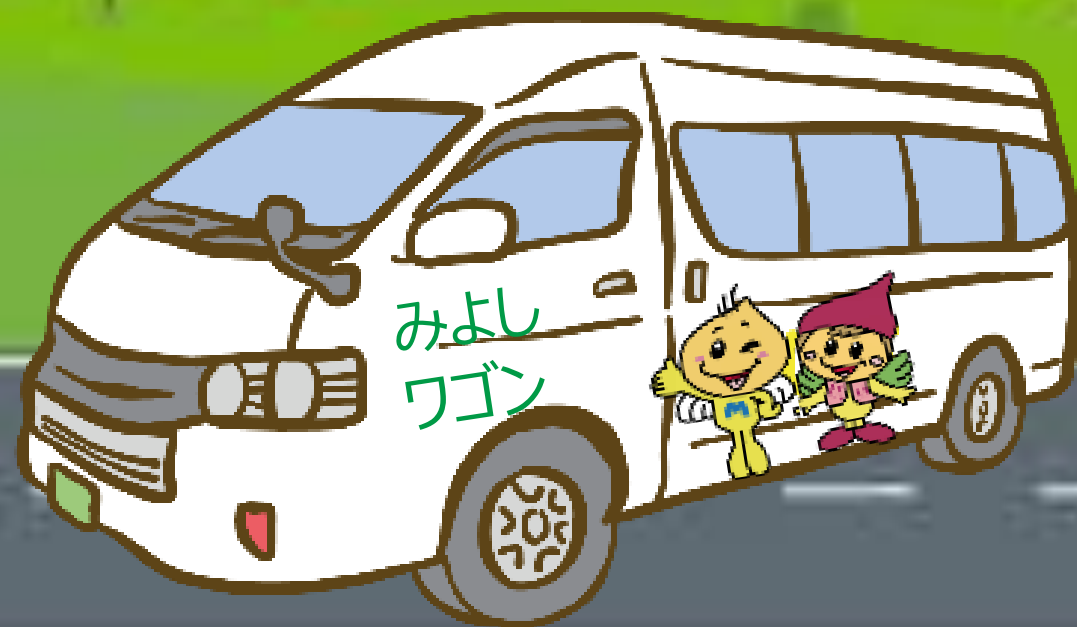
85

循環ワゴン 愛称募集

循環ワゴンの愛称&ロゴマークを募集しています。

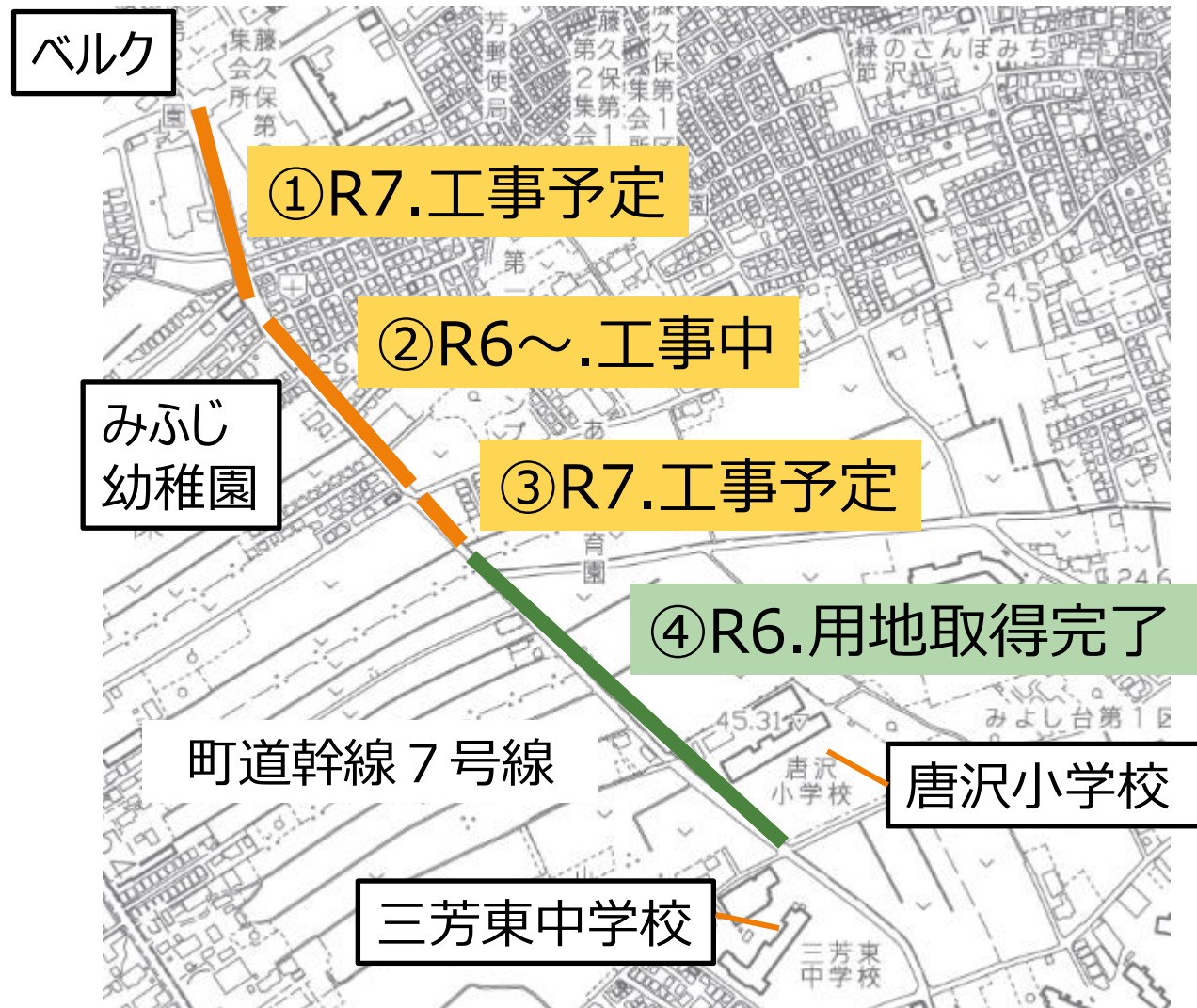
愛称・ロゴマーク募集

- 募集期間：6/1～7/11
- 募集方法：電子申請または応募用紙



都市計画道路の整備

ベルク～三芳東中までの道路について
拡張整備（両側 3.5 m の歩道を含む総幅員 16 m の街路）を行います。



① R7. 工事予定

ベルク～橋本医院前付近

② R7. 工事完了予定

橋本医院前付近～ローソン

③ R7. 工事予定

ローソン～貸し農園を過ぎた先の交差点

④ R6. 用地取得完了

スイミングスクールを過ぎた先の交差点～三芳東中

約 450 m の用地取得を実施。

※ R6 年度に用地取得が完了

都市計画道路の整備

竹間沢・大井・勝瀬通り線の整備を進めます。

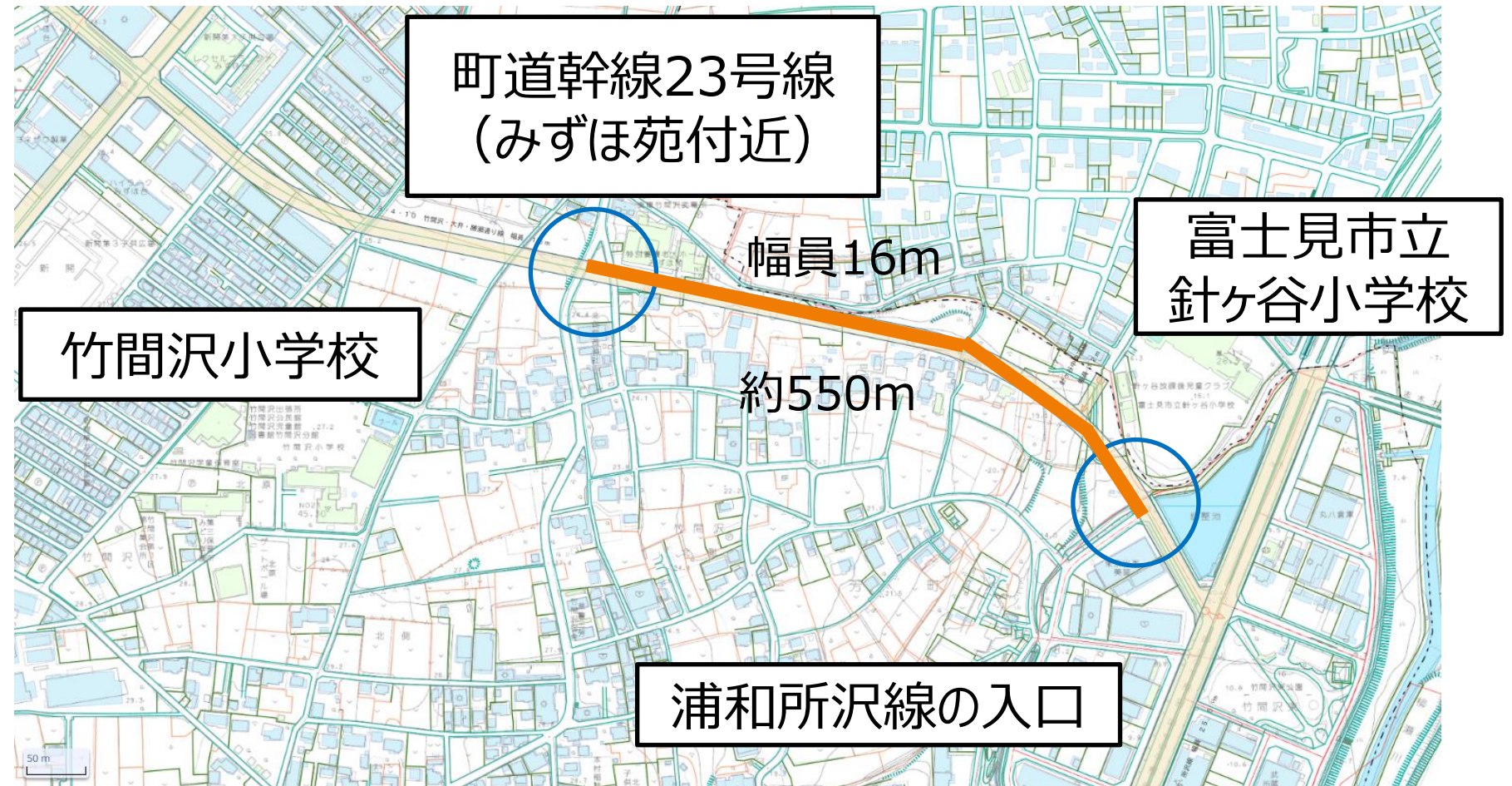
令和6年

都市計画道路整備に関する
アンケート調査を実施



令和7年

竹間沢東～幹線23号線の
用地測量を実施予定
※業務委託発注済み



防犯設備補助

※詳細は要綱をご確認ください

令和7年4月より、住宅犯罪被害防止を目的に、住宅等における防犯設備の購入等費用の補助制度を開始しました。



申請条件

1世帯及び1つの住宅で1回のみ

申請

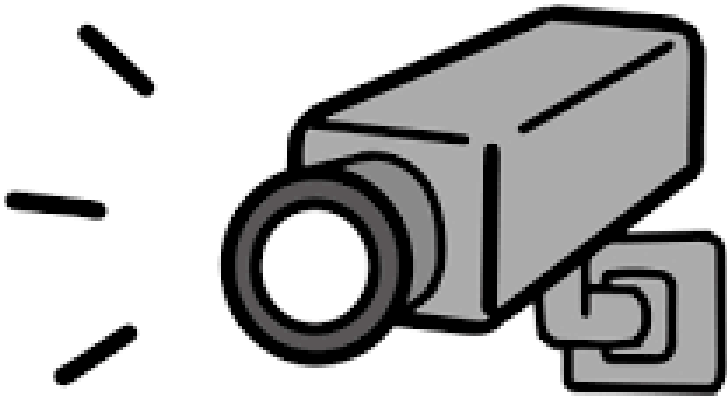
予算件数である300件に到達次第終了（R7.4.25時点：21件の申請があり）

補助金額

令和7年4月1日以降に防犯設備の購入・設置工事にかかった費用の2分の1（上限15,000円）

補助設備例

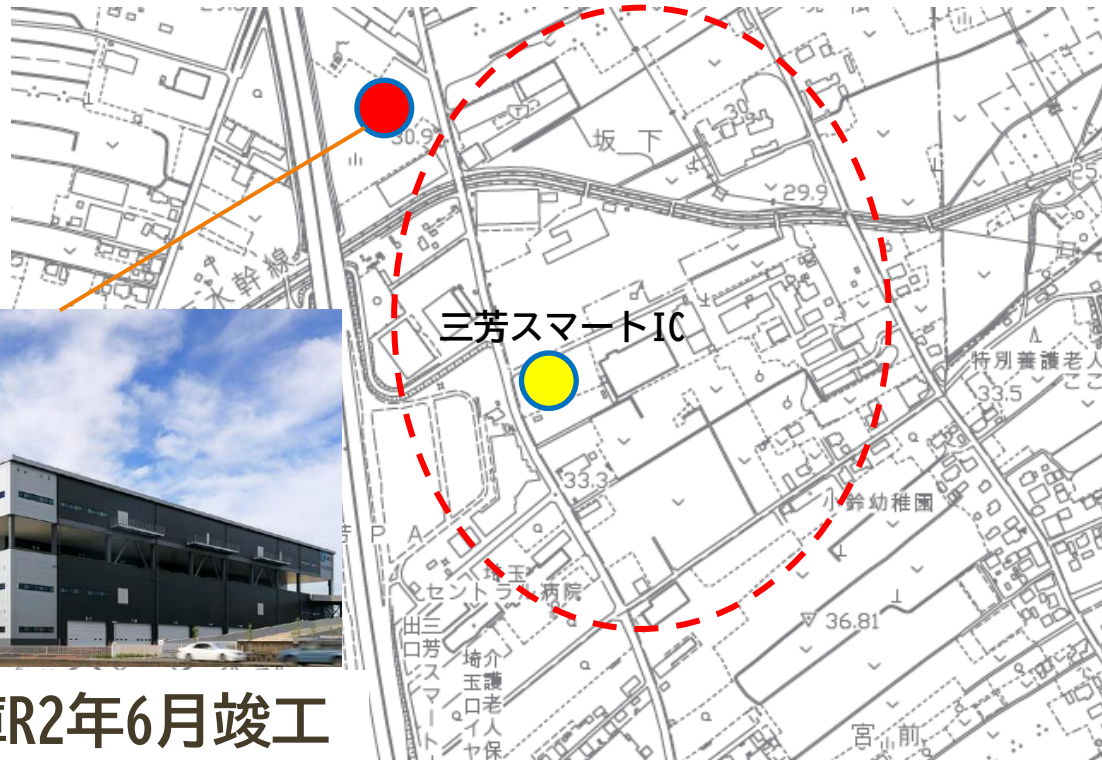
- 防犯カメラの設置
- 防犯フィルムの貼付け
- 人感センサーライトの設置
- センサーアラームの設置
- モニター付きインターホンの設置



企業誘致と雇用創出に向けた取組

「みどり共生産業ゾーン」(三芳町スマートIC周辺の町道3号線沿線)と「竹間沢通西地区」について企業誘致・留置を促進します。

みどり共生産業ゾーン



物流倉庫R2年6月竣工

竹間沢通西地区



地区面積：約17ha



本日お話するテーマ



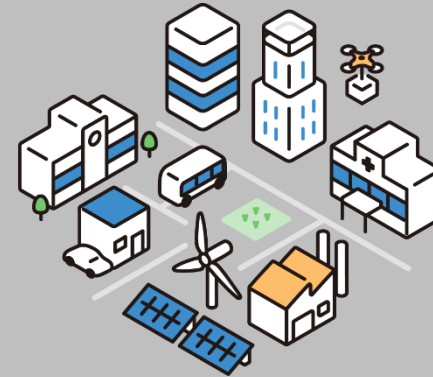
健康・福祉



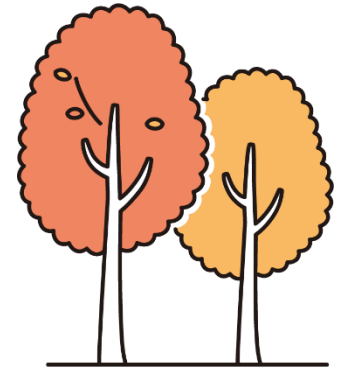
環境



子ども・子育て



都市・交通



観光・文化

ガーデンツーリズム制度とは

令和5年3月に「みよし野ガーデン里山探訪」が
国土交通省ガーデンツーリズム登録制度に認定されました。



個々の魅力的なガーデンも
関連がなくバラバラ...



つなぐ & 食や体験で
魅力的なプランを計画



ガーデンツーリズム 登録地域

全19地域が認定!

※2025年4月時点



ガーデンツーリズム 三芳町の提供する3つのコンテンツ

オープンフォレスト ～里山を歩く～

三富今昔村 くぬぎの森



農業遺産を巡る
散歩道
(平地林コース)



令和の森公園



こぶしの里



オープンファーム ～受け継がれる農を体験する～

芋ほり体験



菜の花畑



枝豆狩り



そばの花畑
(みよし花街道)



オープンガーデン ～花を愛でる～

多聞院



多福寺



月の原ガーデン



ガーデンツーリズム 令和6年度に実施したバスツアー例

世界農業遺産やみよし野ガーデン里山探訪の登録地等を活用した春の日帰りバスツアー



世界農業遺産認定 みよし野ガーデン里山探訪登録地落ち葉掃き体験&野菜収穫体験ツアー



ガーデンツーリズム

満員御礼

7月5日に夏の日帰りバスツアーを開催します。

○バスツアー行程

- ABEFARM（とうもろこし収穫体験・お買い物）
- 月の原ガーデン（ガーデン散策・ブルーベリー狩り・みよし野菜お土産付き）
- 手打ちそばうどん富（三芳産そばとみよし野菜の天ぷら昼食）
- 江戸屋弘東園（お買い物）

たくさんのお申込み
ありがとうございました。



目次

- 01 開会
- 02 区長あいさつ
- 03 町長あいさつ
- 04 町の実情紹介
- 05 事前質問への回答
- 06 質疑応答 意見交換
- 07 閉会
- 08 アンケートご協力のお願い

目次

- 01 開会
- 02 区長あいさつ
- 03 町長あいさつ
- 04 町の取組紹介
- 05 事前質問への回答
- 06 質疑応答 意見交換
- 07 閉会
- 08 アンケートご協力をお願い

ご質問のある方は
挙手をお願いいたします。

本日はご参加いただき
ありがとうございました

アンケートのご提出もよろしくお願いいたします。